

平成22年度中間期決算説明資料

平成22年11月12日

あなたのいちばんに。



 福岡銀行  熊本ファミリー銀行  親和銀行

【 目 次 】

I 決算ダイジェスト	ページ
1 損益の状況	
(1) 業績サマリー	2~5
(2) 業務粗利益	6~7
(3) 経費の状況	8
(4) 信用コストの状況	9
(5) 臨時損益等及び特別損益の状況(信用コストを除く)	10
2 資産・負債の状況	
(1) 貸出金の状況	11
(2) 預金の状況	12
(3) 資産運用商品の状況	13
(4) 有価証券の状況	14
3 不良債権の状況	15
4 自己資本の状況	16
5 業績等予想	17
II 決算の概況	
1 損益の状況	18~21
2 業務純益	22
3 資金平残	23~24
4 利 鞘	25~26
5 自己資本比率及び繰延税金資産	27~30
6 ROE	31
7 役職員数	32
8 拠点数	33
III 貸出金等の状況	
1 リスク管理債権(銀行法ベース)の状況	34
2 貸倒引当金の状況	35
3 リスク管理債権に対する保全状況	36
4 金融再生法開示債権の状況	37
5 金融再生法開示債権の保全状況	38~40
6 子銀行における自己査定状況	41~43
7 業種別貸出金状況等	44~47
8 不良債権のオフバランス化実績	48~50
9 ローン残高	50
10 中小企業等貸出金残高・比率	51

I 決算ダイジェスト

1. 損益の状況

(1) 業績サマリー

FFG連結

ご参考

3行単体合算

(単位: 百万円)

	22年度中間期		21年度中間期	22年度中間期		21年度中間期
		前期比			前期比	
業務粗利益	101,656	875	100,781	97,171	447	96,724
資金利益	80,253	△ 2,056	82,309	80,133	△ 2,247	82,380
役務取引等利益	12,302	△ 335	12,637	10,756	△ 16	10,772
特定取引利益	58	△ 93	151	49	△ 75	124
その他業務利益	9,042	3,359	5,683	6,231	2,784	3,447
うち国債等債券損益	4,411	3,644	767	4,311	3,550	761
経費 (除く臨時処理分) △	61,829	△ 1,533	63,362	55,562	△ 1,784	57,346
実質業務純益	39,827	2,408	37,419	41,609	2,231	39,378
① 一般貸倒引当金繰入額 △	977	△ 5,226	6,203	950	△ 4,611	5,561
業務純益	38,850	7,635	31,215	40,658	6,841	33,817
コア業務純益	35,415	△ 1,236	36,651	37,297	△ 1,320	38,617
臨時損益等	△ 10,702	4,414	△ 15,116	△ 8,767	5,486	△ 14,253
② 不良債権処理額 △	7,545	△ 3,204	10,749	5,989	△ 3,176	9,165
(信用コスト①+②-③) △	(6,479)	(△ 7,739)	(14,218)	(4,898)	(△ 7,105)	(12,003)
株式等関係損益	△ 1,312	290	△ 1,602	△ 765	1,241	△ 2,006
その他臨時損益等	△ 1,844	920	△ 2,764	△ 2,013	1,067	△ 3,080
経常利益	28,147	12,049	16,098	31,890	12,326	19,564
特別損益	1,373	△ 260	1,633	1,273	△ 326	1,599
③ うち償却債権取立益	2,042	△ 693	2,735	2,041	△ 682	2,723
税引前中間純利益	29,521	11,789	17,732	33,163	12,000	21,163
法人税等合計 △	10,998	18,666	△ 7,668	9,926	18,730	△ 8,804
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少 △	-	16,021	△ 16,021	-	16,021	△ 16,021
少数株主利益	1,481	239	1,242	-	-	-
中間純利益	17,041	△ 7,118	24,159	23,236	△ 6,732	29,968

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 (35,415百万円)

= 業務純益 (38,850百万円) + 一般貸倒引当金繰入額 (977百万円) - 国債等債券損益 (4,411百万円)

業績サマリー

コア業務純益 354億円 (前期比▲12億円)

- コア業務純益は、資金利益および役務取引等利益の減少等を経費削減により一部カバーしましたが、前期比▲12億円減少し、354億円となりました。

経常利益 281億円 (前期比+120億円)

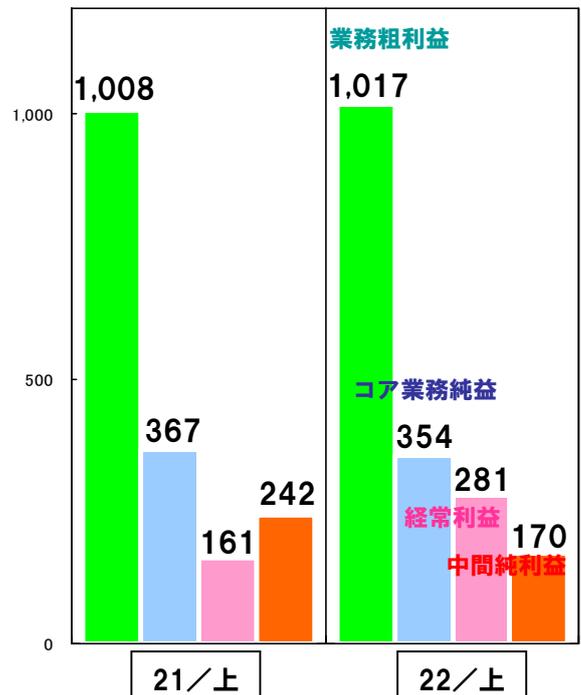
- 経常利益は、信用コスト (償却債権取立益を除く) の減少および有価証券 (株式・債券) 関係損益の増加等により、前期比+120億円増加し、281億円となりました。

中間純利益 170億円 (前期比▲71億円)

- 中間純利益は、前期において連結子会社の清算に伴う繰延税金資産160億円の計上があったため、前期比▲71億円減少し、170億円となりました。

損益の推移 (FFG連結)

(億円)



福岡銀行単体

(単位：百万円)

	22年度中間期	21年度中間期	前期比
業務粗利益	65,680	68,395	△2,715
資金利益	55,804	57,583	△1,779
国内部門	53,553	54,646	△1,093
国際部門	2,251	2,937	△686
役務取引等利益	7,726	7,495	231
特定取引利益	49	124	△75
その他業務利益	2,101	3,191	△1,090
うち国債等債券損益	604	656	△52
うち外為売買損益	1,133	739	394
経費（除く臨時処理分）	△ 35,720	36,980	△1,260
実質業務純益	29,960	31,415	△1,455
① 一般貸倒引当金繰入額	△ 2,349	6,272	△3,923
業務純益	27,610	25,142	2,468
コア業務純益	29,355	30,758	△1,403
臨時損益等	△4,601	△9,798	5,197
② 不良債権処理額	△ 3,466	6,228	△2,762
(信用コスト①+②-③)	△ (4,159)	(10,029)	(△5,870)
株式等関係損益	△133	△1,577	1,444
その他臨時損益等	△1,001	△1,993	992
経常利益	23,008	15,343	7,665
特別損益	1,371	1,769	△398
③ うち償却債権取立益	1,656	2,471	△815
税引前中間純利益	24,380	17,112	7,268
法人税等合計	△ 10,076	△8,721	18,797
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	△ -	△16,021	16,021
中間純利益	14,304	25,833	△11,529

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 (29,355百万円)

= 業務純益 (27,610百万円) + 一般貸倒引当金繰入額 (2,349百万円) - 国債等債券損益 (604百万円)

■業績サマリー

コア業務純益 294億円 (前期比 ▲14億円)

- コア業務純益は、資金利益およびその他業務利益（国債等債券損益を除く）が減少したこと等により前期比▲14億円減少し、294億円となりました。

経常利益 230億円 (前期比 +77億円)

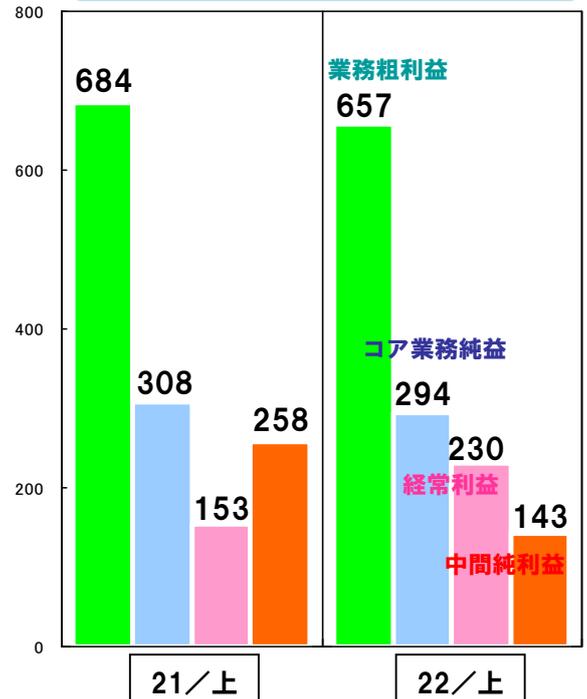
経常利益は、有価証券（株式・債券）関係損益の増加および信用コスト（償却債権取立益を除く）の減少により前期比+77億円増加し、230億円となりました。

中間純利益 143億円 (前期比 ▲115億円)

- 中間純利益は、前期において連結子会社の清算に伴う繰延税金資産160億円の計上があったため、前期比▲115億円減少し、143億円となりました。

(億円)

■ 損益の推移



熊本ファミリー銀行単体

(単位：百万円)

	22年度中間期	21年度中間期	前期比
業務粗利益	12,256	11,626	630
資金利益	10,309	10,738	△429
国内部門	10,246	10,700	△454
国際部門	62	38	24
役務取引等利益	1,027	829	198
その他業務利益	919	58	861
うち国債等債券損益	727	△8	735
うち外為売買損益	138	103	35
経費（除く臨時処理分）	△8,048	8,537	△489
実質業務純益	4,208	3,089	1,119
① 一般貸倒引当金繰入額	△975	39	△1,014
業務純益	5,183	3,049	2,134
コア業務純益	3,480	3,098	382
臨時損益等	△3,085	△2,129	△956
② 不良債権処理額	△1,864	1,083	781
(信用コスト①+②-③)	△(779)	(1,033)	(△254)
株式等関係損益	△639	△315	△324
その他臨時損益等	△581	△730	149
経常利益	2,098	920	1,178
特別損益	92	△68	160
③ うち償却債権取立益	109	90	19
税引前中間純利益	2,190	851	1,339
法人税等合計	△3	△5	2
中間純利益	2,194	857	1,337

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 (3,480百万円)

= 業務純益 (5,183百万円) + 一般貸倒引当金繰入額 (△975百万円) - 国債等債券損益 (727百万円)

■業績サマリー

コア業務純益 35億円 (前期比+4億円)

- コア業務純益は、資金利益が減少したものの、役務取引等利益の増加、経費削減等によりカバーした結果、前期比+4億円増加し、35億円となりました。

経常利益 21億円 (前期比+12億円)

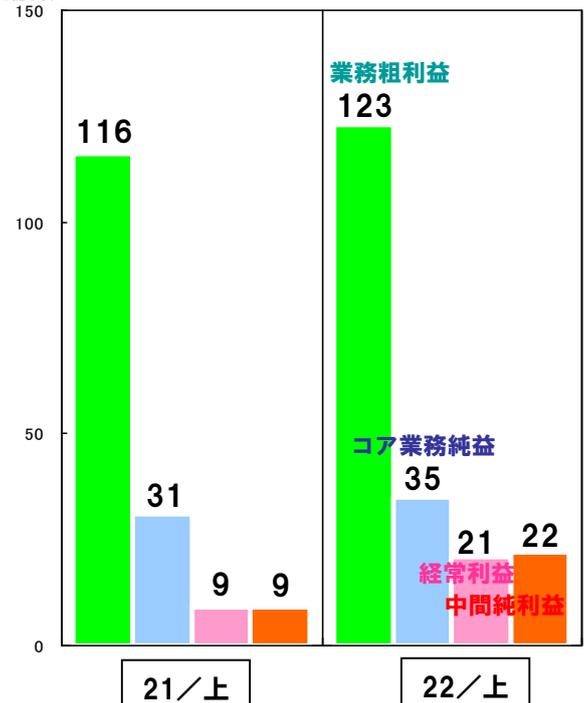
- 経常利益は、コア業務純益の増加に加え、有価証券（株式・債券）関係損益の増加および信用コスト（償却債権取立益を除く）の減少により前期比+12億円増加し、21億円となりました。

中間純利益 22億円 (前期比+13億円)

- 以上の結果、中間純利益は、前期比+13億円増加し、22億円となりました。

(億円)

■ 損益の推移



親和銀行単体

(単位：百万円)

	22年度中間期	21年度中間期	前期比
業務粗利益	19,233	16,701	2,532
資金利益	14,019	14,057	△38
国内部門	13,792	13,831	△39
国際部門	227	225	2
役務取引等利益	2,002	2,447	△445
その他業務利益	3,211	196	3,015
うち国債等債券損益	2,979	113	2,866
うち外為売買損益	154	90	64
経費（除く臨時処理分）	△ 11,793	11,828	△35
実質業務純益	7,440	4,873	2,567
① 一般貸倒引当金繰入額	△ 423	△751	328
業務純益	7,864	5,625	2,239
コア業務純益	4,461	4,759	△298
臨時損益等	△1,080	△2,325	1,245
② 不良債権処理額	△ 658	1,853	△1,195
(信用コスト①+②-③)	△ (△41)	(941)	(△982)
株式等関係損益	8	△114	122
その他臨時損益等	△430	△356	△74
経常利益	6,783	3,299	3,484
特別損益	△190	△101	△89
③ うち償却債権取立益	276	161	115
税引前中間純利益	6,592	3,198	3,394
法人税等合計	△ 145	△78	△67
中間純利益	6,738	3,277	3,461

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 (4,461百万円)

= 業務純益 (7,864百万円) + 一般貸倒引当金繰入額 (△423百万円) - 国債等債券損益 (2,979百万円)

業績サマリー

コア業務純益 45億円 (前期比 ▲3億円)

➢ コア業務純益は、役務取引等利益の減少等により前期比▲3億円減少し、45億円となりました。

経常利益 68億円 (前期比 +35億円)

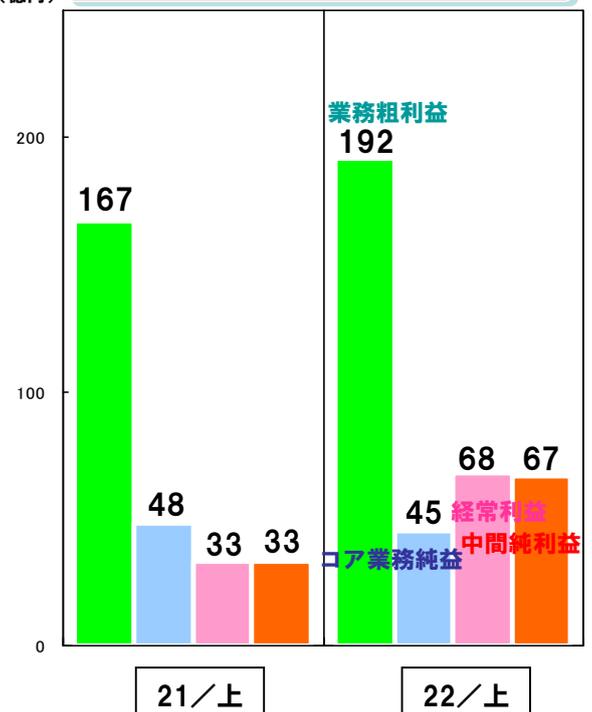
➢ 経常利益は、有価証券(株式・債券)関係損益の増加および信用コスト(償却債権取立益を除く)の減少により前期比+35億円増加し、68億円となりました。

中間純利益 67億円 (前期比 +35億円)

➢ 以上の結果、中間純利益は、前期比+35億円増加し、67億円となりました。

(億円)

損益の推移



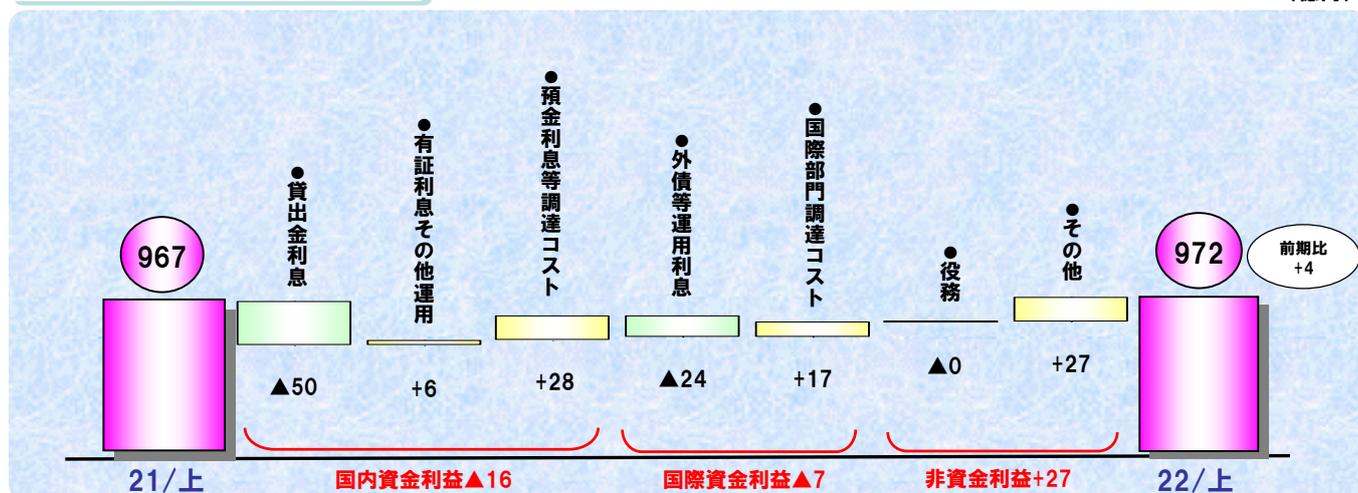
(2) 業務粗利益

(株) ふくおかフィナンシャルグループ (8354) 平成22年度中間期決算説明資料

3行単体合算

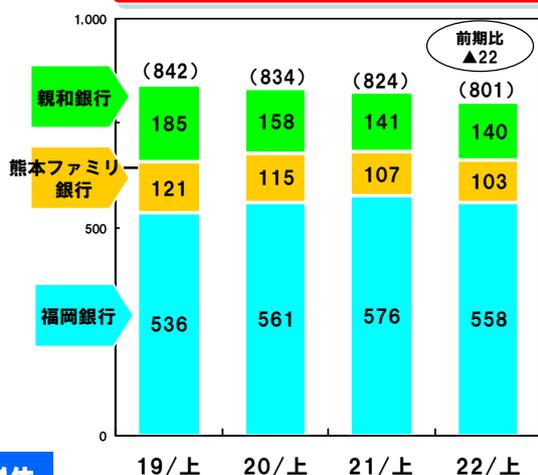
■ 業務粗利益の増減内訳

(億円)



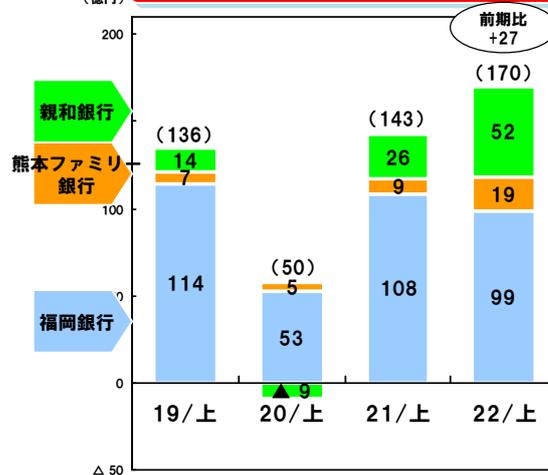
■ 資金利益推移 (銀行別)

(億円)



■ 非資金利益推移 (銀行別)

(億円)

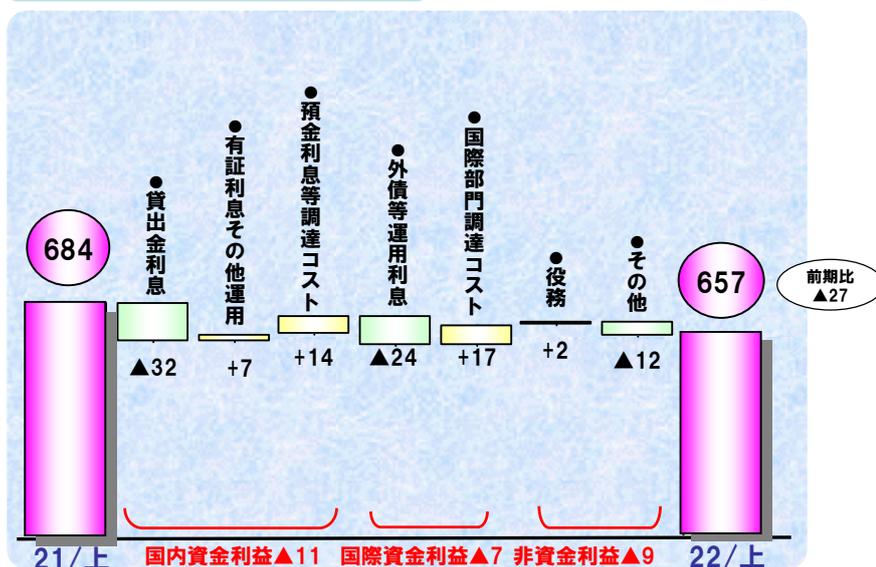


福岡銀行単体

- 国内資金利益は、貸出金利息の減少が、預金利息等調達コストの減少を上回り、前期比▲11億円の減少となりました。
- 国際資金利益は、前期比▲7億円の減少となりました。
- 非資金利益は、役員取引等利益は増加したものの、金融派生商品損益の減少を主因とするその他業務利益の減少により、前期比▲9億円の減少となりました。
- 以上の結果、業務粗利益は、前期比▲27億円減少し、657億円となりました。

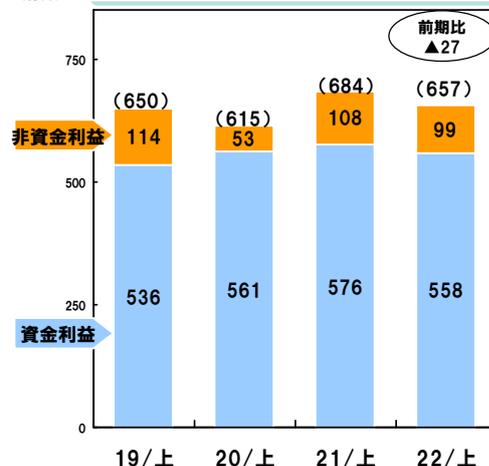
■ 業務粗利益の増減内訳

(億円)



■ 業務粗利益推移

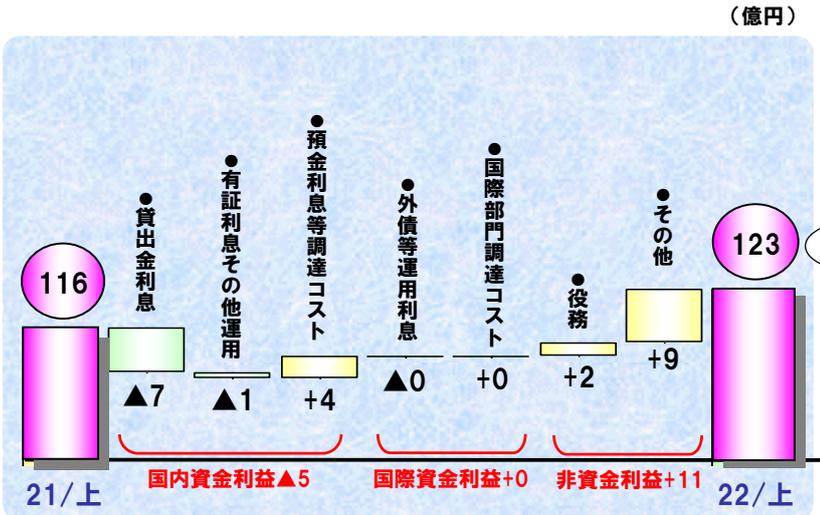
(億円)



熊本ファミリー銀行単体

- 国内資金利益は、貸出金利息及び有価証券利息等の減少が、預金利息等調達コストの減少を上回り、前期比▲5億円の減少となりました。
- 非資金利益は、役員取引等利益の増加及び国債等債券損益の増加を主因とするその他業務収益の増加により、前期比+11億円の増加となりました。
- 以上の結果、業務粗利益は、前期比+6億円増加し、123億円となりました。

■ 業務粗利益の増減内訳



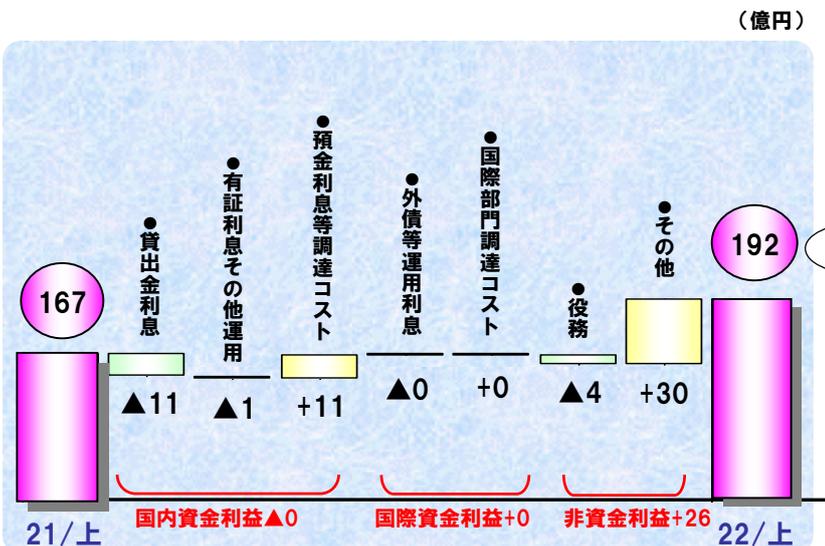
■ 業務粗利益推移



親和銀行単体

- 国内資金利益は、貸出金利息の減少と預金利息等調達コストの減少がほぼ同額であったことから、前期比ほぼ横ばいとなりました。
- 国際資金利益は、前期比+0億円のほぼ横ばいとなりました。
- 非資金利益は、役員取引等利益が減少したものの、国債等債券損益の増加を主因とするその他業務利益の増加により、前期比+26億円の増加となりました。
- 以上の結果、業務粗利益は、前期比+25億円増加し、192億円となりました。

■ 業務粗利益の増減内訳



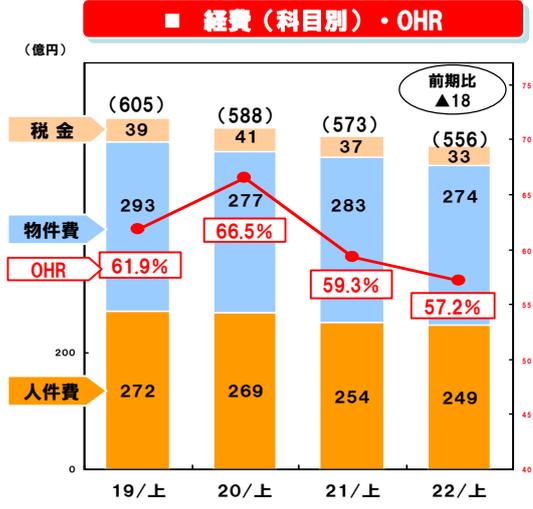
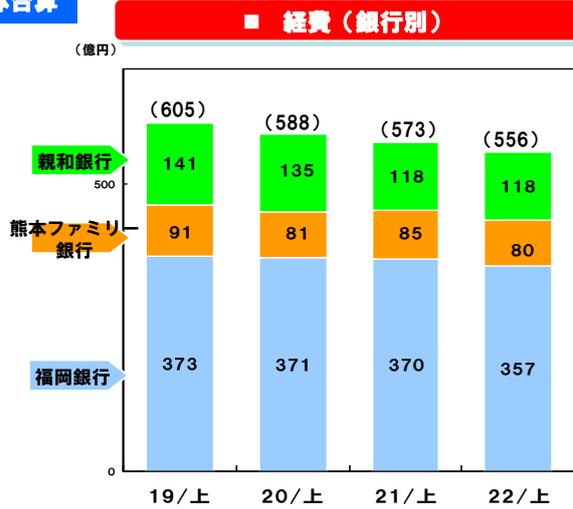
■ 業務粗利益推移



(3) 経費の状況

(株) ふくおかフィナンシャルグループ (8354) 平成22年度中間期決算説明資料

3行単体合算



福岡銀行単体

- 物件費および税金の減少により、経費は前期比▲13億円減少し、357億円となりました。
- OHRは、業務粗利益の減少（前期比▲27億円）により、同+0.3%上昇し、54.4%となりました。

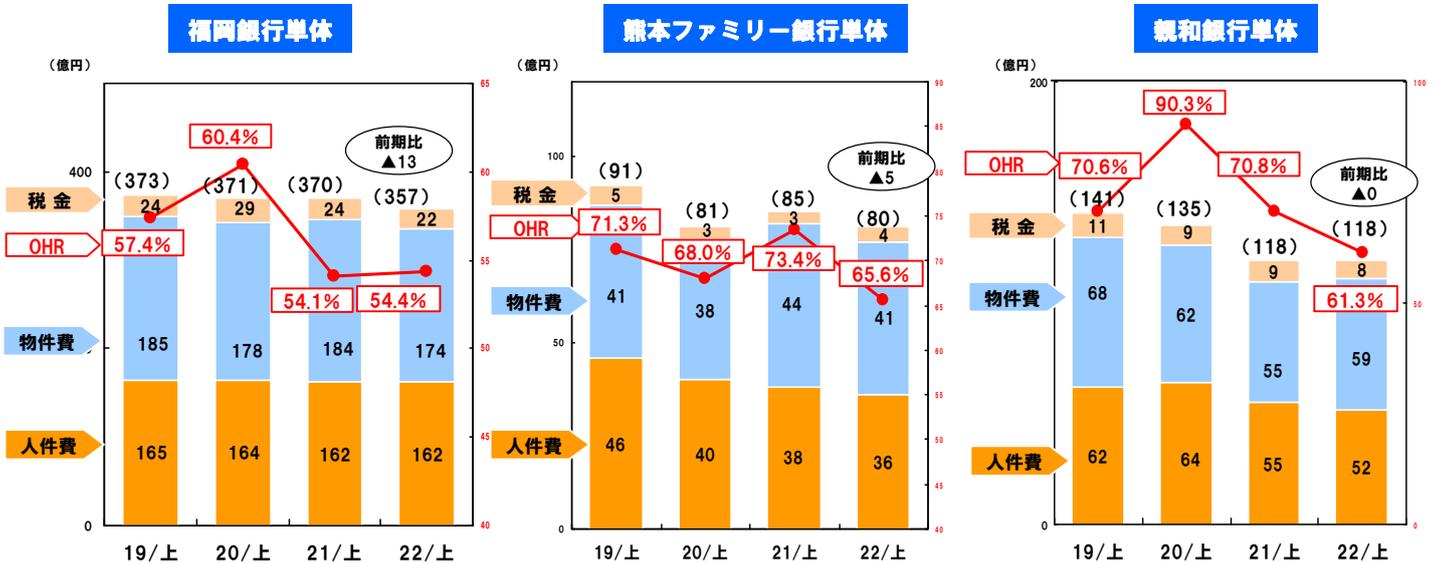
熊本ファミリー銀行単体

- 人件費および物件費の減少により、経費は前期比▲5億円減少し、80億円となりました。
- OHRは、業務粗利益の増加（前期比+6億円）および経費の減少により、同▲7.8%低下し、65.6%となりました。

親和銀行単体

- 物件費は増加しましたが、人件費及び税金の減少でカバーした結果、経費は前期比ほぼ横這いの118億円となりました。
- OHRは、業務粗利益の増加（前期比+25億円）により、同▲9.5%低下し、61.3%となりました。

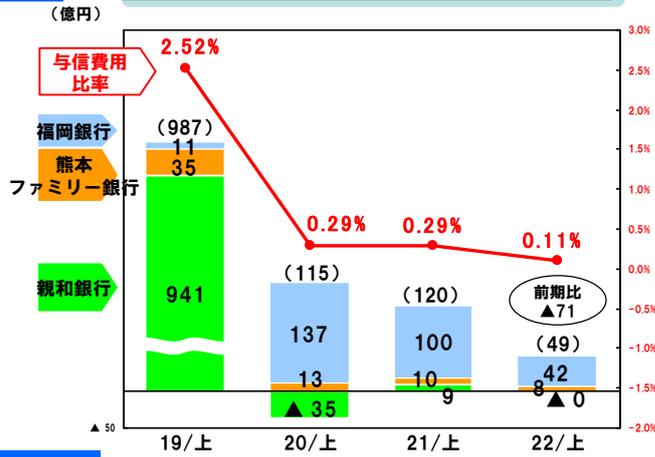
■ 経費（科目別）・OHR



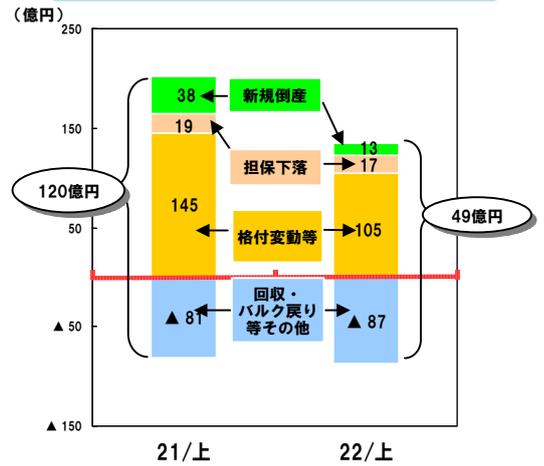
(4) 信用コストの状況

3行単体合算

■ 信用コストの推移



■ 信用コストの内訳



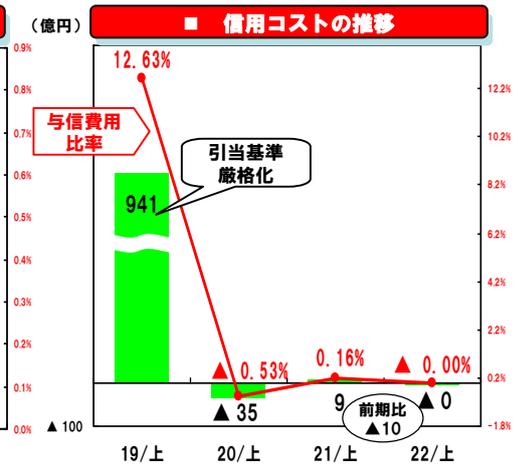
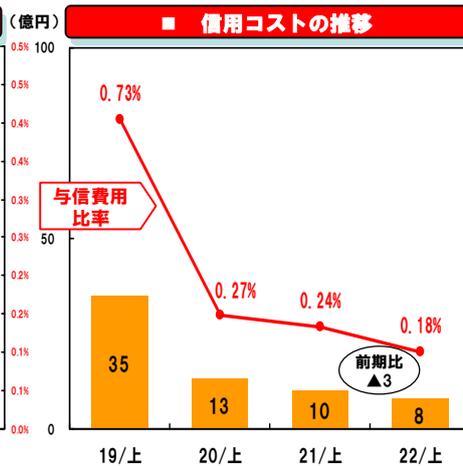
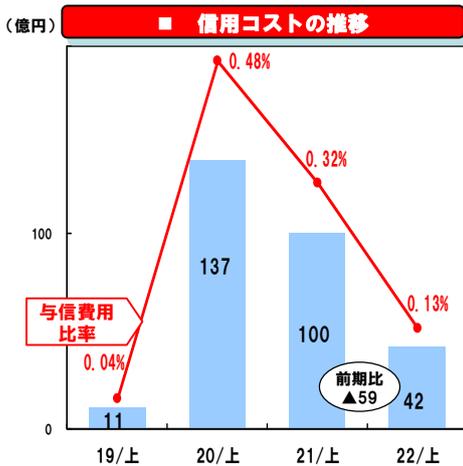
3行単体合算

- 3行単体合算の信用コストは、企業倒産等の減少などにより前期比▲71億円減少し、49億円となりました。(当初予想比▲32億円)
- 22年度通期の信用コスト見通しは、引き続きお取引先企業への経営改善支援・事業再生の取り組みを進め、3行単体合算で130億円(福岡銀行102億円、熊本ファミリー銀行17億円、親和銀行12億円)を予想しております。

福岡銀行単体

熊本ファミリー銀行単体

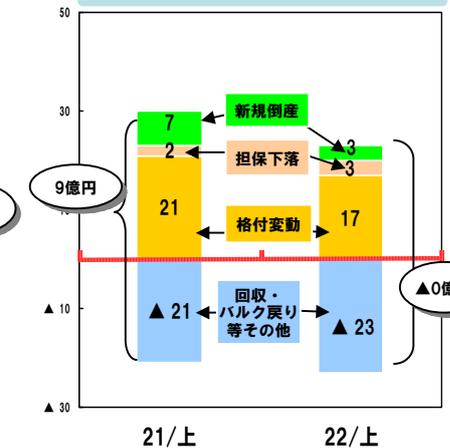
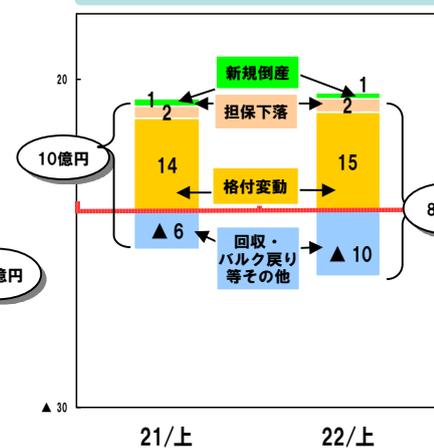
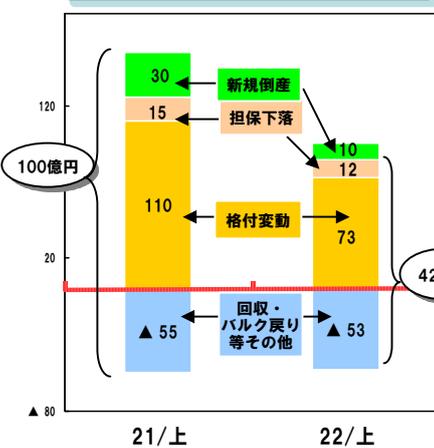
親和銀行単体



■ 信用コストの内訳

■ 信用コストの内訳

■ 信用コストの内訳



(5) 臨時損益等及び特別損益の状況 (信用コストを除く)

福岡銀行単体

- 臨時損益 (除く信用コスト) は、株式関係損益の増加等により前期比+24億円増加し、▲11億円となりました。
- 特別損益 (除く信用コスト) は、固定資産処分損益の増加を主因として前期比+4億円増加し、▲3億円となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 臨時損益 (除く信用コスト) は、株式関係損益の減少等により前期比▲2億円減少し、▲12億円となりました。
- 特別損益 (除く信用コスト) は、固定資産処分損益の増加を主因として前期比+1億円増加し、▲0億円となりました。

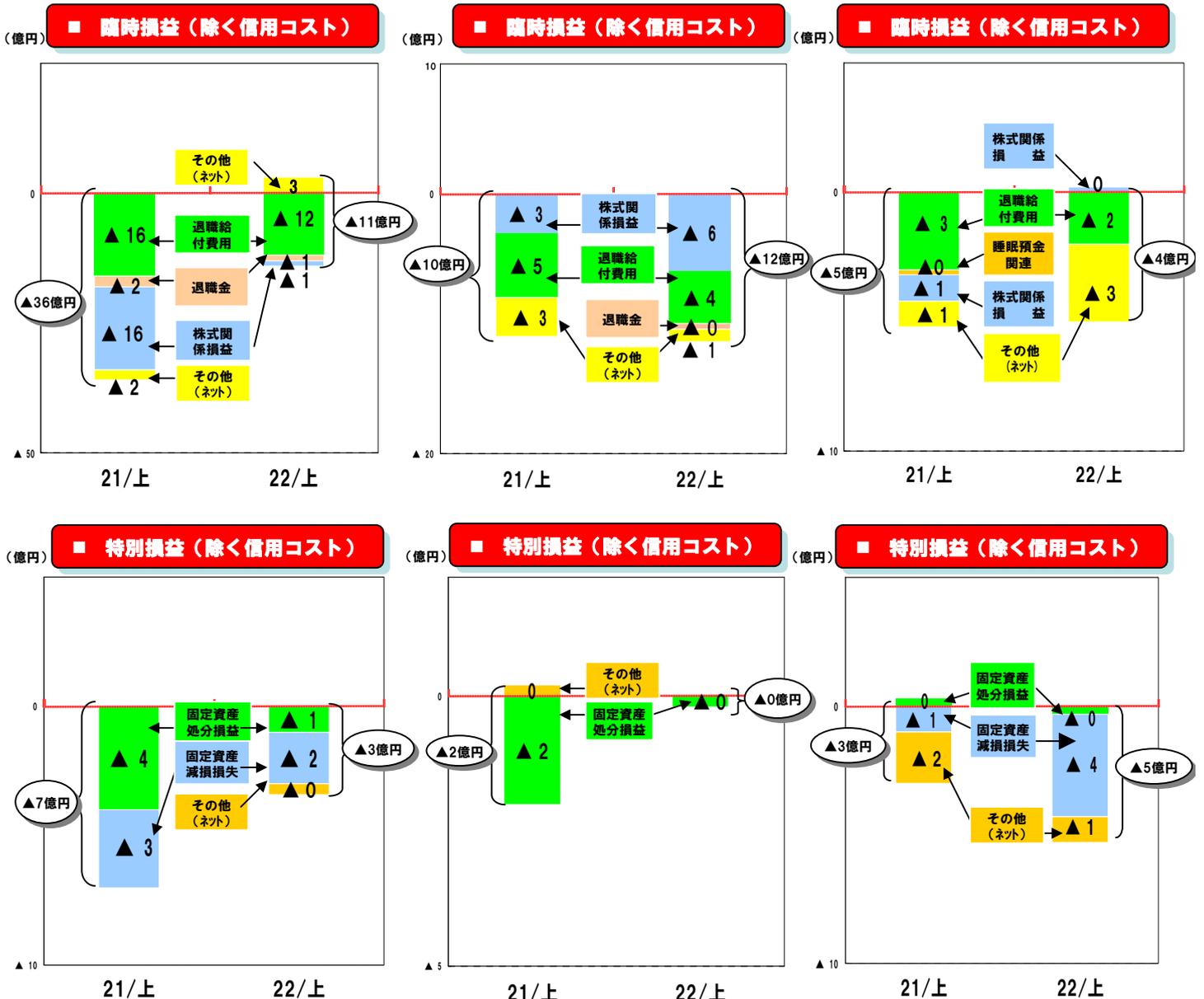
親和銀行単体

- 臨時損益 (除く信用コスト) は、株式関係損益の増加等により前期比+1億円増加し、▲4億円となりました。
- 特別損益 (除く信用コスト) は、固定資産減損損失の増加を主因に前期比▲2億円減少し、▲5億円となりました。

福岡銀行単体

熊本ファミリー銀行単体

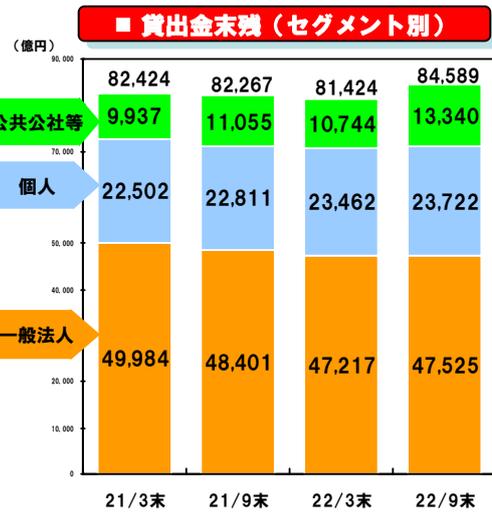
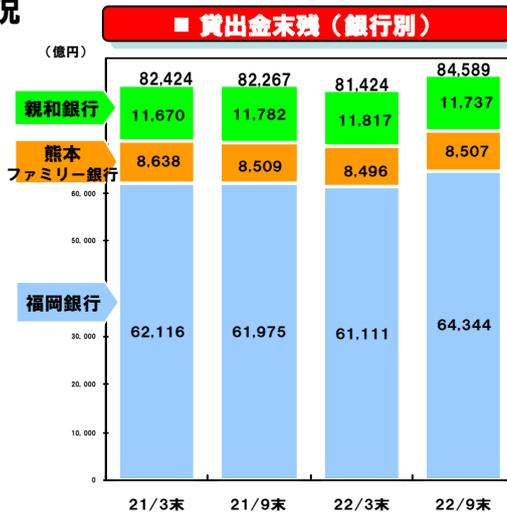
親和銀行単体



2. 資産・負債の状況

(1) 貸出金の状況

3行単体合算



福岡銀行単体

- 総貸出金は、22/3末比+3,233億円増加し、6兆4,344億円 (21/9末比+2,368億円、年率+3.8%) となりました。
- 個人部門は、22/3末比+243億円 (21/9末比+547億円、年率+3.3%)、法人部門は、同+2,989億円 (同+1,821億円、年率+4.0%) となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総貸出金は、22/3末比+10億円増加し、8,507億円 (21/9末比▲1億円、年率▲0.0%) となりました。
- 個人部門は、22/3末比+31億円 (21/9末比+62億円、年率+2.2%)、法人部門は、同▲20億円 (同▲64億円、年率▲1.1%) となりました。

親和銀行単体

- 総貸出金は、22/3末比▲79億円減少し、1兆1,737億円 (21/9末比▲44億円、年率▲0.4%) となりました。
- 個人部門は、22/3末比▲14億円 (21/9末比+301億円、年率+8.5%)、法人部門は、同▲65億円 (同▲346億円、年率▲4.2%) となりました。

(単位:百万円)

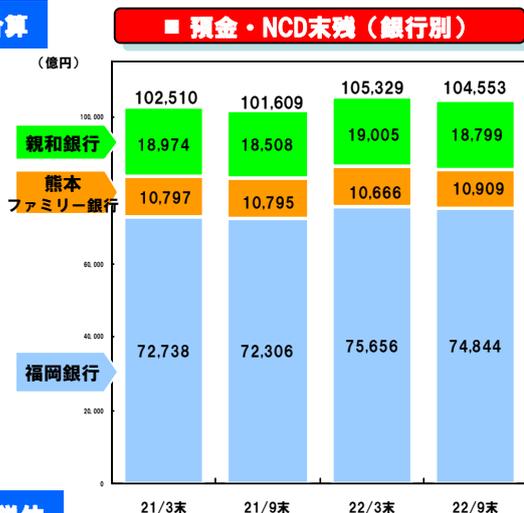
	22年9月末 (年率: %)			22年3月末	21年9月末		
		22/3末比	21/9末比				
3行単体合算	総貸出金	(2.8%)	8,458,918	316,452	232,232	8,142,466	8,226,686
	個人部門	(4.0%)	2,372,298	26,065	91,206	2,346,233	2,281,092
	法人部門	(2.4%)	6,086,620	290,388	141,027	5,796,232	5,945,593
	一般法人	(▲1.8%)	4,752,575	30,807	▲87,553	4,721,768	4,840,128
	公共公社等	(20.7%)	1,334,044	259,581	228,579	1,074,463	1,105,465
福岡銀行単体	総貸出金	(3.8%)	6,434,441	323,313	236,898	6,111,128	6,197,543
	個人部門	(3.3%)	1,695,260	24,391	54,775	1,670,869	1,640,485
	法人部門	(4.0%)	4,739,181	298,923	182,124	4,440,258	4,557,057
	一般法人	(▲0.3%)	3,657,455	55,095	▲11,564	3,602,360	3,669,019
	公共公社等	(21.8%)	1,081,726	243,828	193,688	837,898	888,038
	福岡県内貸出金	(1.5%)	5,004,657	118,291	75,252	4,886,366	4,929,405
熊本ファミリー銀行単体	総貸出金	(▲0.0%)	850,725	1,095	▲176	849,630	850,901
	個人部門	(2.2%)	293,284	3,115	6,237	290,169	287,047
	法人部門	(▲1.1%)	557,441	▲2,020	▲6,413	559,461	563,854
	一般法人	(▲3.5%)	510,716	▲11,860	▲18,560	522,576	529,276
	公共公社等	(35.1%)	46,725	9,840	12,147	36,885	34,578
	熊本県内貸出金	(0.5%)	771,464	234	3,497	771,230	767,967
親和銀行単体	総貸出金	(▲0.4%)	1,173,752	▲7,955	▲4,489	1,181,707	1,178,241
	個人部門	(8.5%)	383,754	▲1,441	30,194	385,195	353,560
	法人部門	(▲4.2%)	789,998	▲6,513	▲34,683	796,511	824,681
	一般法人	(▲8.9%)	584,404	▲12,426	▲57,428	596,830	641,832
	公共公社等	(12.4%)	205,593	5,913	22,744	199,680	182,849
	長崎県内貸出金	(3.1%)	813,936	6,242	24,336	807,694	789,600

(注) 貸出金には、福岡銀行のFFG向け貸出金 (21年9月末 1,070億円、22年3月末 1,040億円、22年9月末 850億円) を含んでおります。

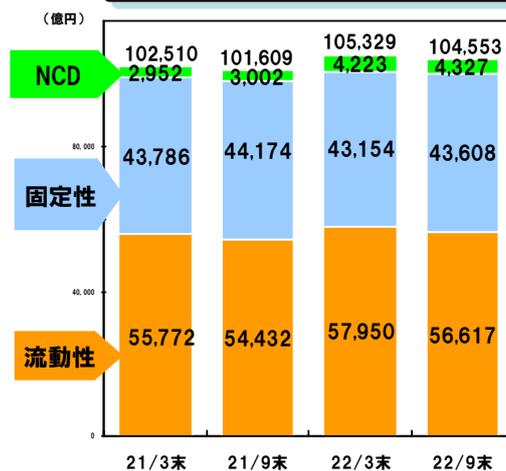
(2) 預金の状況

(株) 福岡ファイナンシャルグループ (8354) 平成22年度中間決算説明資料

3行単体合算



■ 預金・NCD末残 (セグメント別)



福岡銀行単体

- 総資金 (預金+NCD) は、22/3末比▲811億円減少し、7兆4,844億円 (21/9末比+2,539億円、年率+3.5%) となりました。
- 個人預金は、22/3末比+772億円 (21/9末比+1,406億円、年率+2.8%)、法人預金は、同▲1,637億円 (同+133億円、年率+0.7%) となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総資金は、22/3末比+242億円増加し、1兆909億円 (21/9末比+114億円、年率+1.1%) となりました。
- 個人預金は、22/3末比▲62億円 (21/9末比▲74億円、年率▲0.9%)、法人預金は、同+244億円 (同+147億円、年率+6.2%) となりました。

親和銀行単体

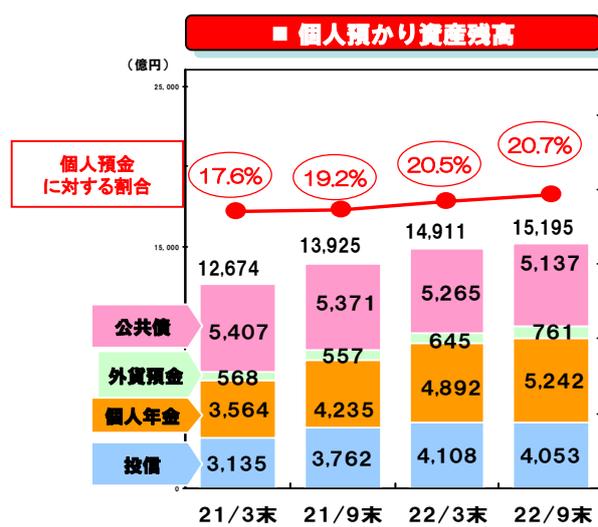
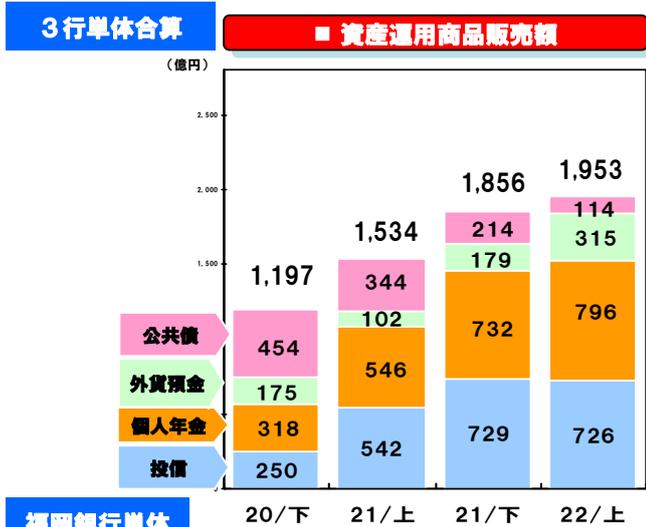
- 総資金は、22/3末比▲206億円減少し、1兆8,799億円 (21/9末比+291億円、年率+1.6%) となりました。
- 個人預金は、22/3末比▲202億円 (21/9末比▲330億円、年率▲2.6%)、法人預金は、同+6億円 (同+336億円、年率+6.7%) となりました。

(単位: 百万円)

	22年9月末 (年率: %)			22年3月末	21年9月末		
		22/3末比	21/9末比				
3行単体合算	個人預金	(1.4%)	7,340,755	50,670	100,213	7,290,085	7,240,542
	法人預金	(2.4%)	2,681,850	△ 138,648	61,704	2,820,498	2,620,146
	合計	(1.6%)	10,022,607	△ 87,976	161,919	10,110,583	9,860,688
	流動性	(4.0%)	5,661,737	△ 133,354	218,488	5,795,091	5,443,249
	固定性	(△ 1.3%)	4,360,869	45,377	△ 56,570	4,315,492	4,417,439
	総資金 (預金+NCD)	(2.9%)	10,455,369	△ 77,546	294,438	10,532,915	10,160,931
福岡銀行単体	個人預金	(2.8%)	5,247,557	77,213	140,672	5,170,344	5,106,885
	法人預金	(0.7%)	1,895,150	△ 163,728	13,333	2,058,878	1,881,817
	合計	(2.2%)	7,142,708	△ 86,514	154,005	7,229,222	6,988,703
	流動性	(3.3%)	4,287,366	△ 128,180	136,067	4,415,546	4,151,299
	固定性	(0.6%)	2,855,342	41,666	17,939	2,813,676	2,837,403
	総資金 (預金+NCD)	(3.5%)	7,484,494	△ 81,186	253,919	7,565,680	7,230,575
福岡県内預金	(2.2%)	6,721,980	△ 86,633	143,432	6,808,613	6,578,548	
熊本ファミリー銀行単体	個人預金	(△ 0.9%)	833,032	△ 6,244	△ 7,432	839,276	840,464
	法人預金	(6.2%)	250,702	24,419	14,706	226,283	235,996
	合計	(0.7%)	1,083,734	18,174	7,273	1,065,560	1,076,461
	流動性	(5.6%)	427,311	18,013	22,616	409,298	404,695
	固定性	(△ 2.3%)	656,423	162	△ 15,342	656,261	671,765
	総資金 (預金+NCD)	(1.1%)	1,090,956	24,270	11,415	1,066,686	1,079,541
熊本県内預金	(1.0%)	999,432	18,097	10,220	981,335	989,212	
親和銀行単体	個人預金	(△ 2.6%)	1,260,166	△ 20,298	△ 33,025	1,280,464	1,293,191
	法人預金	(6.7%)	535,998	662	33,666	535,336	502,332
	合計	(0.0%)	1,796,165	△ 19,636	642	1,815,801	1,795,523
	流動性	(6.7%)	947,060	△ 23,186	59,807	970,246	887,253
	固定性	(△ 6.5%)	849,104	3,550	△ 59,166	845,554	908,270
	総資金 (預金+NCD)	(1.6%)	1,879,919	△ 20,629	29,105	1,900,548	1,850,814
長崎県内預金	(1.3%)	1,535,878	△ 14,709	18,970	1,550,587	1,516,908	

(3) 資産運用商品の状況

(株) 福岡ファイナンシャルグループ (8354) 平成22年度中間期決算説明資料



- 資産運用商品（投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債）の販売額は、21年度下期比▲0億円とほぼ横ばいの1,153億円（21年度上期比+188億円、年率+19.5%）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、22/3末比▲71億円減少し、1兆658億円（21/9末比+536億円、年率+5.3%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 資産運用商品の販売額は、21年度下期比+48億円増加し、326億円（21年度上期比+120億円、年率+58.8%）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、22/3末比+157億円増加し、1,770億円（21/9末比+331億円、年率+23.1%）となりました。

親和銀行単体

- 資産運用商品の販売額は、21年度下期比+49億円増加し、473億円（21年度上期比+110億円、年率+30.3%）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、22/3末比+197億円増加し、2,766億円（21/9末比+403億円、年率+17.1%）となりました。

(単位: 億円)

	資産運用商品販売額						個人預かり資産残高					
	22年度上期 (年率: %)	21/下比	21/上比	21年度下期	21年度上期	22年9月末 (年率: %)	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末		
3行単体合算												
投資信託	(34.0)	726	△ 3	184	729	542	(7.8)	4,053	△ 55	291	4,108	3,762
個人年金保険	(46.1)	796	64	250	732	546	(23.8)	5,242	350	1,007	4,892	4,235
外貨預金	(208.7)	315	136	213	179	102	(36.9)	761	116	204	645	557
公共債	(△ 66.7)	114	△ 100	△ 230	214	344	(△ 4.4)	5,137	△ 128	△ 234	5,265	5,371
合計	(27.4)	1,953	97	419	1,856	1,534	(9.1)	15,195	284	1,270	14,911	13,925
個人預金に対する割合												
							-	20.7%	0.2%	1.5%	20.5%	19.2%
福岡銀行単体												
投資信託	(29.9)	418	△ 16	96	434	322	(3.5)	2,790	△ 103	94	2,893	2,696
個人年金保険	(39.3)	434	△ 0	122	434	312	(18.8)	3,138	60	495	3,078	2,643
外貨預金	(325.8)	196	95	150	101	46	(28.8)	515	55	115	460	400
公共債	(△ 63.6)	103	△ 79	△ 181	182	284	(△ 3.9)	4,213	△ 83	△ 171	4,296	4,384
合計	(19.5)	1,153	△ 0	188	1,153	965	(5.3)	10,658	△ 71	536	10,729	10,122
個人預金に対する割合												
							-	20.3%	△ 0.5%	0.5%	20.8%	19.8%
熊本ファミリー銀行単体												
投資信託	(49.2)	136	2	45	134	91	(31.7)	506	42	121	464	385
個人年金保険	(85.3)	140	38	64	102	76	(29.8)	914	119	210	795	704
外貨預金	(86.9)	48	9	22	39	26	(26.5)	119	19	25	100	94
公共債	(△ 91.1)	1	△ 0	△ 11	1	12	(△ 9.7)	230	△ 22	△ 25	252	255
合計	(58.8)	326	48	120	278	206	(23.1)	1,770	157	331	1,613	1,439
個人預金に対する割合												
							-	21.3%	2.1%	4.2%	19.2%	17.1%
親和銀行単体												
投資信託	(33.4)	171	11	43	160	128	(11.0)	756	6	75	750	681
個人年金保険	(40.7)	221	26	64	195	157	(34.1)	1,189	171	302	1,018	887
外貨預金	(134.0)	70	33	40	37	30	(104.8)	126	43	64	83	62
公共債	(△ 79.0)	9	△ 21	△ 38	30	47	(△ 5.3)	693	△ 23	△ 39	716	732
合計	(30.3)	473	49	110	424	363	(17.1)	2,766	197	403	2,569	2,363
個人預金に対する割合												
							-	22.0%	1.9%	3.7%	20.1%	18.3%

(注) 投資信託販売額は法人向け含む。その他は個人向けのみ。

(4) 有価証券の状況

時価のあるその他有価証券の評価差額

F F G 連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、22/3末比+4,542億円増加し、2兆6,821億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、22/3末比+260億円増加し、790億円の含み益となりました。

福岡銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、22/3末比+4,145億円増加し、1兆7,509億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、22/3末比+206億円増加し、640億円の含み益となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 時価のあるその他有価証券残高は、22/3末比+7億円増加し、2,172億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、22/3末比+23億円増加し、37億円の含み益となりました。

親和銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、22/3末比+388億円増加し、7,144億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、22/3末比+27億円増加し、150億円の含み益となりました。

(単位: 百万円)

	22年9月末						22年3月末				
	時 価	22/3末比	評価差額	22/3末比	うち評価益	うち評価損	時 価	評価差額	うち評価益	うち評価損	
F F G 連結	その他有価証券	2,682,113	454,231	79,052	26,008	92,446	13,393	2,227,882	53,044	64,978	11,934
	株式	76,948	△ 10,338	12,813	△ 8,441	22,948	10,134	87,286	21,254	28,054	6,800
	債券	2,289,674	531,164	58,040	29,175	58,167	127	1,758,510	28,865	29,836	970
	国債	1,299,450	443,411	31,865	16,531	31,866	0	856,039	15,334	15,796	462
	地方債	37,183	△ 925	1,544	945	1,549	4	38,108	599	671	71
	社債	953,041	88,678	24,630	11,698	24,752	122	864,363	12,932	13,368	436
	その他	315,490	△ 66,595	8,198	5,274	11,329	3,131	382,085	2,924	7,087	4,163
福岡銀行連結	その他有価証券	1,750,936	414,571	64,095	20,614	73,722	9,626	1,336,365	43,481	52,027	8,545
	株式	71,119	△ 8,478	19,215	△ 8,469	25,705	6,490	79,597	27,684	31,780	4,095
	債券	1,382,870	484,361	36,681	23,993	36,750	68	898,509	12,688	13,238	549
	国債	752,674	359,387	19,606	13,636	19,606	-	393,287	5,970	6,146	176
	地方債	22,039	1,929	1,017	799	1,017	-	20,110	218	282	64
	社債	608,156	123,045	16,057	9,557	16,126	68	485,111	6,500	6,808	308
	その他	296,946	△ 61,312	8,198	5,090	11,266	3,067	358,258	3,108	7,008	3,900
熊本ファミリー銀行単体	その他有価証券	217,275	782	3,719	2,378	4,931	1,212	216,493	1,341	2,887	1,546
	株式	2,148	△ 1,239	△ 1,158	134	11	1,169	3,387	△ 1,292	21	1,314
	債券	215,076	2,027	4,880	2,244	4,920	40	213,049	2,636	2,865	228
	国債	157,799	4,273	3,378	1,791	3,378	-	153,526	1,587	1,762	175
	地方債	383	6	15	13	15	-	377	2	3	0
	社債	56,893	△ 2,253	1,485	439	1,525	40	59,146	1,046	1,099	52
	その他	49	△ 7	△ 2	0	-	2	56	△ 2	-	2
親和銀行連結	その他有価証券	714,404	38,877	15,001	2,744	15,329	327	675,527	12,257	12,865	607
	株式	3,680	△ 622	556	△ 622	805	249	4,302	1,178	1,340	162
	債券	692,229	44,774	14,226	3,244	14,245	18	647,455	10,982	11,189	207
	国債	388,975	79,750	6,624	1,337	6,625	0	309,225	5,287	5,398	110
	地方債	14,760	△ 2,860	511	206	515	4	17,620	305	327	21
	社債	288,493	△ 32,116	7,090	1,701	7,103	13	320,609	5,389	5,464	75
	その他	18,494	△ 5,275	218	121	277	59	23,769	97	334	237

3. 不良債権の状況

3行単体合算

【部分直接償却後】

■金融再生法開示債権残高

(金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります)

(単位：億円)

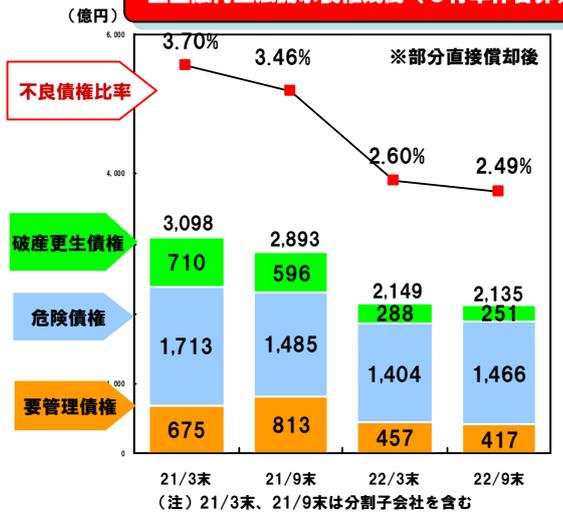
	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	251	△ 37	△ 345	288	596
危険債権	1,466	62	△ 18	1,404	1,485
要管理債権	417	△ 40	△ 396	457	813
①合計(金融再生法開示債権)	2,135	△ 14	△ 759	2,149	2,893
正常債権	83,530	3,060	2,896	80,470	80,635
②総与信残高	85,665	3,045	2,137	82,620	83,528
総与信に占める金融再生法開示債権 ①/②	2.49%	△ 0.11%	△ 0.97%	2.60%	3.46%

■保全率【22年9月末】

(単位：億円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
金融再生法開示債権	2,135	1,657	626	1,031	77.62%

■金融再生法開示債権残高(3行単体合算)



福岡銀行単体

- 金融再生法開示債権は、22/3末比▲11億円減少し1,677億円(21/9末比▲686億円)となりました。
- 総与信に占める金融再生法開示債権額の割合(不良債権比率)は、同▲0.15%低下し2.57%(同▲1.19%)となりました。

熊本ファミリー銀行単体

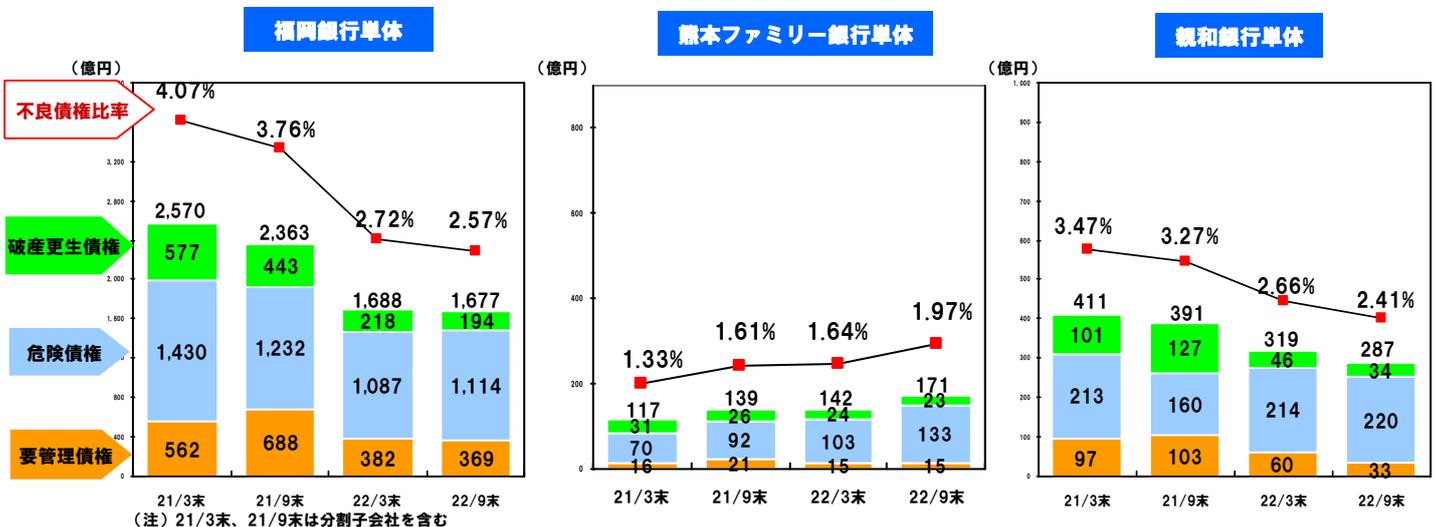
- 金融再生法開示債権は、22/3末比+29億円増加し171億円(21/9末比+31億円)となりました。
- 不良債権比率は、同+0.33%上昇し1.97%(同+0.36%)となりました。

親和銀行単体

- 金融再生法開示債権は、22/3末比▲32億円減少し287億円(21/9末比▲103億円)となりました。
- 不良債権比率は、同▲0.25%低下し2.41%(同▲0.86%)となりました。

■金融再生法開示債権残高・比率

※部分直接償却後



4. 自己資本の状況

FFG連結 (第二基準)

➤ 連結自己資本比率(第二基準)は、22/3末比0.27%上昇し10.59%、またTier I比率も同0.28%上昇し6.58%となりました。

【信用リスク】標準的手法 【オペリスク】粗利益配分手法	22年9月末	22/3末比		22年3月末	21年9月末
		22/3末比	21/9末比		
①自己資本比率⑤/⑥	10.59%	0.27%	0.52%	10.32%	10.07%
②Tier I	4,184	188	260	3,996	3,924
Tier I比率	6.58%	0.28%	0.43%	6.30%	6.15%
③Tier II	2,698	35	90	2,663	2,608
④控除項目	148	31	41	117	107
⑤自己資本 ②+③-④	6,734	192	310	6,542	6,424
⑥リスクアセット	63,580	238	△ 185	63,342	63,765

(単位: 億円)

福岡銀行連結 (国内基準)

➤ 連結自己資本比率(国内基準)は、22/3末比0.94%上昇し12.74%、またTier I比率も同0.26%上昇し9.90%となりました。

【信用リスク】基礎的内部格付手法 【オペリスク】粗利益配分手法	22年9月末	22/3末比		22年3月末	21年9月末
		22/3末比	21/9末比		
①自己資本比率⑤/⑥	12.74%	0.94%	0.87%	11.80%	11.87%
②Tier I	4,323	92	129	4,231	4,194
Tier I比率	9.90%	0.26%	0.17%	9.64%	9.73%
③Tier II	2,178	100	102	2,078	2,076
④控除項目	938	△ 191	△ 218	1,129	1,156
⑤自己資本 ②+③-④	5,563	382	449	5,181	5,114
⑥リスクアセット	43,664	△ 209	601	43,873	43,063

(単位: 億円)

熊本ファミリー銀行単体 (国内基準)

➤ 自己資本比率(国内基準)は、22/3末比0.39%上昇し9.76%、またTier I比率も同0.38%上昇し7.60%となりました。

【信用リスク】標準的手法 【オペリスク】粗利益配分手法	22年9月末	22/3末比		22年3月末	21年9月末
		22/3末比	21/9末比		
①自己資本比率⑤/⑥	9.76%	0.39%	0.40%	9.37%	9.36%
②Tier I	552	23	18	529	534
Tier I比率	7.60%	0.38%	0.38%	7.22%	7.22%
③Tier II	157	△ 1	△ 1	158	158
④控除項目	0	0	0	0	0
⑤自己資本 ②+③-④	709	22	17	687	692
⑥リスクアセット	7,260	△ 73	△ 132	7,333	7,392

(単位: 億円)

親和銀行連結 (国内基準)

➤ 連結自己資本比率(国内基準)は、22/3末比0.16%上昇し11.55%、またTier I比率も同0.86%上昇し8.12%となりました。

【信用リスク】標準的手法 【オペリスク】粗利益配分手法	22年9月末	22/3末比		22年3月末	21年9月末
		22/3末比	21/9末比		
①自己資本比率⑤/⑥	11.55%	0.16%	1.21%	11.39%	10.34%
②Tier I	769	76	101	693	668
Tier I比率	8.12%	0.86%	1.28%	7.26%	6.84%
③Tier II	325	△ 68	△ 15	393	340
④控除項目	-	-	-	-	-
⑤自己資本 ②+③-④	1,095	8	87	1,087	1,008
⑥リスクアセット	9,478	△ 61	△ 276	9,539	9,754

(単位: 億円)

5. 業績等予想

- 平成22年度中間期実績を踏まえた平成22年度通期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおり修正はありません。

FFG連結（業績予想修正なし）

（単位：億円）

	平成22年度 （見通し）	中間期（実績）	平成21年度 （実績）
	経常収益	2,440	1,244
経常利益	450	281	331
当期純利益	250	170	284

＜ご参考＞

- ・子銀行ベースでの通期業績見通しは以下のとおりです。

平成22年度通期業績見通し

（単位：億円）

	3行単体合算	福岡銀行	熊本ファミリー銀行	親和銀行
	コア業務純益	744	583	70
経常利益	553	414	40	98
当期純利益	386	249	40	97
信用コスト	130	102	17	12

（注）平成22年度中間期実績を踏まえて、子銀行の平成22年度業績見通しを修正しております。なお、FFG連結ベースの平成22年度業績見通しは修正ありません。

※上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

II 決算の概況

1. 損益の状況

【FFG連結】

(単位:百万円)

		22年度中間期	前期比	21年度中間期
連結粗利益	1	101,656	875	100,781
資金利益	2	80,253	△2,056	82,309
役務取引等利益	3	12,302	△335	12,637
特定取引利益	4	58	△93	151
その他業務利益	5	9,042	3,359	5,683
うち国債等債券損益(5勘定戻)	6	4,411	3,644	767
売却益	7	3,976	2,578	1,398
売却損	8	45	△30	75
償還益	9	746	746	—
償還損	10	45	△442	487
償却	11	220	152	68
営業経費	12	63,770	△2,069	65,839
その他経常損益	13	△9,738	9,105	△18,843
①不良債権処理額	14	8,522	△8,431	16,953
一般貸倒引当金繰入額	15	977	△5,226	6,203
個別貸倒引当金繰入額	16	6,687	△3,240	9,927
延滞債権等売却損	17	103	△138	241
貸出金償却	18	—	△15	15
その他	19	754	189	565
株式等関係損益	20	△1,312	290	△1,602
売却益	21	71	△152	223
売却損	22	445	183	262
償却	23	938	△625	1,563
持分法による投資損益	24	△74	△111	37
その他	25	171	495	△324
経常利益	26	28,147	12,049	16,098
特別損益	27	1,373	△260	1,633
②うち償却債権取立益	28	2,042	△693	2,735
税金等調整前中間純利益	29	29,521	11,789	17,732
法人税、住民税及び事業税	30	976	340	636
法人税等調整額	31	10,022	18,327	△8,305
法人税等合計	32	10,998	18,666	△7,668
少数株主利益	33	1,481	239	1,242
中間純利益	34	17,041	△7,118	24,159
(信用コスト①-②)	35	(6,479)	(△7,739)	(14,218)

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)
+(特定取引収益-特定取引費用)+(その他業務収益-その他業務費用)

3. 法人税、住民税及び事業税には、過年度法人税等を含みます。

【参考】連結子会社数

■平成22年度中間期の連結子会社の異動状況
 ・減少3社・・・親和コーポレート・パートナーズ株式会社(清算)
 ファミリーカード株式会社(株)FFGカードに吸収合併)
 しんわディーシーカード株式会社(")

(単位:社)

	22年9月末	22/3末比	22年3月末
連結子会社数	21	△3	24

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
業務粗利益	65,680	△2,715	68,395
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(65,076)	(△2,663)	(67,739)
資金利益	55,804	△1,779	57,583
役務取引等利益	7,726	231	7,495
特定取引利益	49	△75	124
その他業務利益	2,101	△1,090	3,191
うち国債等債券損益(5勘定戻)	604	△52	656
売却益	123	△1,115	1,238
売却損	4	△29	33
償還益	746	746	—
償還損	40	△440	480
償却	220	152	68
経費(除く臨時処理分)	35,720	△1,260	36,980
人件費	16,171	13	16,158
物件費	17,397	△979	18,376
税金	2,151	△295	2,446
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	29,960	△1,455	31,415
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(29,355)	(△1,403)	(30,758)
①一般貸倒引当金繰入額	2,349	△3,923	6,272
業務純益	27,610	2,468	25,142
臨時損益等	△4,601	5,197	△9,798
②不良債権処理額	3,466	△2,762	6,228
個別貸倒引当金繰入額	2,812	△2,123	4,935
投資損失引当金繰入額	—	△619	619
延滞債権等売却損	103	△132	235
その他の偶発損失引当金繰入額	374	30	344
その他	176	83	93
株式等関係損益	△133	1,444	△1,577
売却益	34	27	7
売却損	118	118	0
償却	48	△1,536	1,584
その他臨時損益等	△1,001	992	△1,993
経常利益	23,008	7,665	15,343
特別損益	1,371	△398	1,769
固定資産処分損益	△67	320	△387
固定資産処分益	—	△1	1
固定資産処分損	67	△321	388
③償却債権取立益	1,656	△815	2,471
固定資産減損損失	167	△148	315
その他特別損益等	△49	△49	—
税引前中間純利益	24,380	7,268	17,112
法人税、住民税及び事業税	64	△13	77
過年度法人税等	—	268	△268
法人税等調整額	10,011	18,541	△8,530
法人税等合計	10,076	18,797	△8,721
中間純利益	14,304	△11,529	25,833
(信用コスト①+②-③)	(4,159)	(△5,870)	(10,029)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

		22年度中間期	前期比	21年度中間期
業務粗利益	1	12,256	630	11,626
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	(11,528)	(△107)	(11,635)
資金利益	3	10,309	△429	10,738
役務取引等利益	4	1,027	198	829
その他業務利益	5	919	861	58
うち国債等債券損益(5勘定戻)	6	727	735	△8
売却益	7	734	734	—
売却損	8	—	—	—
償還益	9	—	—	—
償還損	10	6	△2	8
償却	11	—	—	—
経費(除く臨時処理分)	12	8,048	△489	8,537
人件費	13	3,579	△192	3,771
物件費	14	4,116	△328	4,444
税金	15	351	31	320
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	16	4,208	1,119	3,089
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	17	(3,480)	(382)	(3,098)
①一般貸倒引当金繰入額	18	△975	△1,014	39
業務純益	19	5,183	2,134	3,049
臨時損益等	20	△3,085	△956	△2,129
②不良債権処理額	21	1,864	781	1,083
個別貸倒引当金繰入額	22	1,802	774	1,028
その他の偶発損失引当金繰入額	23	15	15	—
その他	24	46	△9	55
株式等関係損益	25	△639	△324	△315
売却益	26	—	△188	188
売却損	27	630	625	5
償却	28	9	△488	497
その他臨時損益等	29	△581	149	△730
経常利益	30	2,098	1,178	920
特別損益	31	92	160	△68
固定資産処分損益	32	△17	158	△175
固定資産処分益	33	0	△3	3
固定資産処分損	34	17	△161	178
③償却債権取立益	35	109	19	90
その他特別損益等	36	—	△15	15
税引前中間純利益	37	2,190	1,339	851
法人税、住民税及び事業税	38	9	0	9
法人税等調整額	39	△13	1	△14
法人税等合計	40	△3	2	△5
中間純利益	41	2,194	1,337	857
(信用コスト①+②-③)	42	(779)	(△254)	(1,033)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【親和銀行単体】

(単位: 百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
業務粗利益	19,233	2,532	16,701
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(16,254)	(△333)	(16,587)
資金利益	14,019	△38	14,057
役務取引等利益	2,002	△445	2,447
その他業務利益	3,211	3,015	196
うち国債等債券損益(5勘定戻)	2,979	2,866	113
売却益	3,030	2,871	159
売却損	48	7	41
償還益	—	—	—
償還損	3	△1	4
償却	—	—	—
経費(除く臨時処理分)	11,793	△35	11,828
人件費	5,169	△302	5,471
物件費	5,852	390	5,462
税金	771	△123	894
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	7,440	2,567	4,873
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(4,461)	(△298)	(4,759)
①一般貸倒引当金繰入額	△423	328	△751
業務純益	7,864	2,239	5,625
臨時損益等	△1,080	1,245	△2,325
②不良債権処理額	658	△1,195	1,853
個別貸倒引当金繰入額	573	△1,222	1,795
その他	85	27	58
株式等関係損益	8	122	△114
売却益	37	△286	323
売却損	—	△0	0
償却	29	△408	437
その他臨時損益等	△430	△74	△356
経常利益	6,783	3,484	3,299
特別損益	△190	△89	△101
固定資産処分損益	△48	△78	30
固定資産処分益	41	△41	82
固定資産処分損	90	38	52
③償却債権取立益	276	115	161
固定資産減損損失	350	248	102
その他特別損益等	△67	123	△190
税引前中間純利益	6,592	3,394	3,198
法人税、住民税及び事業税	15	△3	18
法人税等調整額	△161	△64	△97
法人税等合計	△145	△67	△78
中間純利益	6,738	3,461	3,277
(信用コスト①+②-③)	(△41)	(△982)	(941)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	41,609	2,231	39,378
職員(平残)一人当たり(千円)	6,710	709	6,001
業務純益	40,658	6,841	33,817
職員(平残)一人当たり(千円)	6,556	1,402	5,154

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	29,960	△1,455	31,415
職員(平残)一人当たり(千円)	7,812	△165	7,977
業務純益	27,610	2,468	25,142
職員(平残)一人当たり(千円)	7,199	815	6,384

(注)職員数平残=月末従業員数合計÷6

なお、上記従業員数は、行外への出向者を除き、行外から受け入れた出向者を含んでおります。また、嘱託者及び海外現地採用者は除いております。

以下、熊本ファミリー銀行及び親和銀行についても、同様であります。

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	4,208	1,119	3,089
職員(平残)一人当たり(千円)	4,272	1,349	2,923
業務純益	5,183	2,134	3,049
職員(平残)一人当たり(千円)	5,262	2,377	2,885

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	7,440	2,567	4,873
職員(平残)一人当たり(千円)	5,387	2,275	3,112
業務純益	7,864	2,239	5,625
職員(平残)一人当たり(千円)	5,694	2,102	3,592

3. 資金平残

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
資金運用勘定	11,123,911	157,789	10,966,122
うち貸出金	8,254,707	39,072	8,215,635
うち有価証券	2,606,759	285,428	2,321,331
資金調達勘定	11,227,515	359,109	10,868,406
うち預金等	10,686,343	373,203	10,313,140
うち外部負債	395,736	△ 9,319	405,055

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
資金運用勘定	8,165,018	233,884	7,931,134
うち貸出金	6,245,423	58,886	6,186,537
うち有価証券	1,714,214	286,665	1,427,549
資金調達勘定	8,170,855	335,909	7,834,946
うち預金等	7,669,745	346,713	7,323,032
うち外部負債	379,957	△ 12,237	392,194

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
資金運用勘定	1,087,515	△ 5,387	1,092,902
うち貸出金	839,908	△ 6,139	846,047
うち有価証券	220,105	△ 7,854	227,959
資金調達勘定	1,104,252	5,013	1,099,239
うち預金等	1,092,000	11,993	1,080,007
うち外部負債	562	△ 1,841	2,403

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
資金運用勘定	1,871,378	△ 70,707	1,942,085
うち貸出金	1,169,375	△ 13,675	1,183,050
うち有価証券	672,438	6,616	665,822
資金調達勘定	1,952,406	18,186	1,934,220
うち預金等	1,924,598	14,498	1,910,100
うち外部負債	15,216	4,759	10,457

【参考】資金平残（国内部門）

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
資金運用勘定	10,928,552	143,916	10,784,636
うち貸出金	8,181,390	32,265	8,149,125
うち有価証券	2,295,687	372,857	1,922,830
資金調達勘定	11,032,524	344,914	10,687,610
うち預金等	10,600,516	360,150	10,240,366
うち外部負債	317,494	△ 17,094	334,588

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
資金運用勘定	7,992,894	225,596	7,767,298
うち貸出金	6,174,107	52,079	6,122,028
うち有価証券	1,424,651	369,662	1,054,989
資金調達勘定	7,999,209	327,326	7,671,883
うち預金等	7,607,513	339,546	7,267,967
うち外部負債	301,727	△ 19,999	321,726

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
資金運用勘定	1,075,268	△ 5,856	1,081,124
うち貸出金	839,908	△ 6,139	846,047
うち有価証券	220,105	△ 7,854	227,959
資金調達勘定	1,091,955	4,546	1,087,409
うち預金等	1,079,409	11,223	1,068,186
うち外部負債	562	△ 1,841	2,403

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
資金運用勘定	1,860,389	△ 75,824	1,936,213
うち貸出金	1,167,375	△ 13,675	1,181,050
うち有価証券	650,930	11,049	639,881
資金調達勘定	1,941,358	13,041	1,928,317
うち預金等	1,913,593	9,381	1,904,212
うち外部負債	15,204	4,747	10,457

4. 利鞘

【3行単体合算】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比		21年度中間期
(1)資金運用利回	1.67	△0.14		1.81
貸出金利回	1.87	△0.13		2.00
有価証券利回	1.13	△0.17		1.30
(2)資金調達原価	1.22	△0.15		1.37
預金等利回	0.11	△0.07		0.18
外部負債利回	1.00	0.01		0.99
(3)総資金利鞘 (1)-(2)	0.45	0.01		0.44

【福岡銀行単体】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比		21年度中間期
(1)資金運用利回	1.63	△0.15		1.78
貸出金利回	1.77	△0.12		1.89
有価証券利回	1.18	△0.28		1.46
(2)資金調達原価	1.14	△0.14		1.28
預金等利回	0.10	△0.06		0.16
外部負債利回	0.98	0.02		0.96
(3)総資金利鞘 (1)-(2)	0.49	△0.01		0.50

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比		21年度中間期
(1)資金運用利回	2.10	△0.14		2.24
貸出金利回	2.39	△0.15		2.54
有価証券利回	1.04	△0.09		1.13
(2)資金調達原価	1.66	△0.16		1.82
預金等利回	0.18	△0.06		0.24
外部負債利回	0.10	△0.04		0.14
(3)総資金利鞘 (1)-(2)	0.44	0.02		0.42

【親和銀行単体】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比		21年度中間期
(1)資金運用利回	1.63	△0.06		1.69
貸出金利回	2.00	△0.16		2.16
有価証券利回	1.01	△0.01		1.02
(2)資金調達原価	1.34	△0.12		1.46
預金等利回	0.10	△0.10		0.20
外部負債利回	1.69	△0.51		2.20
(3)総資金利鞘 (1)-(2)	0.29	0.06		0.23

【参考】利鞘（国内部門）

【3行単体合算】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比	
		前期比	21年度中間期
(1)資金運用利回	1.63	△0.10	1.73
貸出金利回	1.87	△0.13	2.00
有価証券利回	0.97	△0.07	1.04
(2)資金調達原価	1.20	△0.12	1.32
預金等利回	0.11	△0.07	0.18
外部負債利回	0.66	0.01	0.65
(3)総資金利鞘 (1)-(2)	0.43	0.02	0.41

【福岡銀行単体】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比	
		前期比	21年度中間期
(1)資金運用利回	1.57	△0.11	1.68
貸出金利回	1.77	△0.12	1.89
有価証券利回	0.95	△0.10	1.05
(2)資金調達原価	1.10	△0.12	1.22
預金等利回	0.10	△0.06	0.16
外部負債利回	0.61	0.00	0.61
(3)総資金利鞘 (1)-(2)	0.47	0.01	0.46

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比	
		前期比	21年度中間期
(1)資金運用利回	2.11	△0.13	2.24
貸出金利回	2.39	△0.15	2.54
有価証券利回	1.04	△0.09	1.13
(2)資金調達原価	1.67	△0.16	1.83
預金等利回	0.17	△0.07	0.24
外部負債利回	0.10	△0.04	0.14
(3)総資金利鞘 (1)-(2)	0.44	0.03	0.41

【親和銀行単体】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比	
		前期比	21年度中間期
(1)資金運用利回	1.61	△0.06	1.67
貸出金利回	2.01	△0.15	2.16
有価証券利回	0.98	0.00	0.98
(2)資金調達原価	1.34	△0.12	1.46
預金等利回	0.10	△0.10	0.20
外部負債利回	1.69	△0.51	2.20
(3)総資金利鞘 (1)-(2)	0.27	0.06	0.21

5.自己資本比率及び繰延税金資産

【FFG連結】

ア. 自己資本比率 (注)自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは標準的手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
		22/3末比	21/9末比		
①自己資本比率(%) ⑤/⑥	10.59	0.27	0.52	10.32	10.07
②Tier I (百万円)	418,490	18,886	26,082	399,604	392,408
Tier I 比率(%)	6.58	0.28	0.43	6.30	6.15
③Tier II (百万円)	269,848	3,525	9,033	266,323	260,815
Tier II 比率(%)	4.24	0.04	0.15	4.20	4.09
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	39,737	148	△116	39,589	39,853
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	35,310	△24	△111	35,334	35,421
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	194,800	3,400	9,260	191,400	185,540
④控除項目(百万円)	14,857	3,157	4,077	11,700	10,780
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	50	-	-	50	50
うち金融業務を営む関連法人等への出資	2,285	△80	△141	2,365	2,426
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	12,521	3,237	4,218	9,284	8,303
⑤自己資本②+③-④(百万円)	673,481	19,253	31,037	654,228	642,444
⑥リスクアセット(百万円)	6,358,005	23,752	△18,585	6,334,253	6,376,590
自己資本に含まれる繰延税金資産	107,686	△10,043	△17,494	117,729	125,180

(注)自己資本に含まれる繰延税金資産は以下イ.における繰延税金資産の純額⑤+その他有価証券評価差額に係る繰延税金負債(α)-繰延ヘッジ損益(β)

イ. 繰延税金資産

(単位:百万円)

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
		22/3末比	21/9末比		
貸倒引当金	75,394	△6,868	△28,307	82,262	103,701
税務上の繰越欠損金	116,441	△6,673	13,160	123,114	103,281
退職給付引当金	8,537	△298	△1,248	8,835	9,785
有価証券償却	11,506	2,470	△2,159	9,036	13,665
減価償却	3,171	35	87	3,136	3,084
繰延ヘッジ損益(β)	8,284	4,858	4,873	3,426	3,411
その他	2,123	△696	△1,058	2,819	3,181
①繰延税金資産小計	225,460	△7,171	△14,651	232,631	240,111
②評価性引当額	97,383	△1,470	△2,257	98,853	99,640
③繰延税金資産合計①-②	128,077	△5,701	△12,394	133,778	140,471
その他有価証券評価差額(α)	31,581	10,789	12,955	20,792	18,626
退職給付信託設定益	11,562	127	220	11,435	11,342
固定資産圧縮積立金	534	0	0	534	534
その他	9	△642	7	651	2
④繰延税金負債	43,687	10,273	13,181	33,414	30,506
⑤繰延税金資産の純額 ③-④	84,389	△15,974	△25,576	100,363	109,965

【福岡銀行連結】 (注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
		22/3末比		
①自己資本比率(%) ⑤/⑥	12.74	0.94	0.87	11.80
②Tier I (百万円)	432,397	9,253	12,963	423,144
Tier I 比率(%)	9.90	0.26	0.17	9.64
うち期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額(△)	-	-	-	-
③Tier II (百万円)	217,830	9,932	10,166	207,898
Tier II 比率(%)	4.98	0.25	0.16	4.73
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	208	15	99	193
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	35,310	△24	△111	35,334
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	170,000	10,000	10,000	160,000
(エ)内部格付手法採用行において、適格引当金が期待損失額を上回る額	12,310	△59	178	12,369
④控除項目(百万円)	93,854	△19,083	△21,826	112,937
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	85,000	△19,000	△22,000	104,000
うち金融業務を営む関連法人等への出資	2,281	△80	△140	2,361
うち期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額	-	-	-	-
うち株式等エクスポージャーの期待損失額(PD/LGD方式適用分)	133	△6	2	139
うち特定貸付債権エクスポージャー(自己資本控除分)	5,764	592	467	5,172
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	674	△63	382	737
⑤自己資本②+③-④(百万円)	556,372	38,267	44,954	518,105
⑥リスクアセット(百万円)	4,366,443	△20,899	60,094	4,387,342
自己資本に含まれる繰延税金資産	78,717	△10,025	△17,670	88,742

【福岡銀行単体】 (注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
		22/3末比		
①自己資本比率(%) ⑤/⑥	12.74	1.02	1.04	11.72
②Tier I (百万円)	425,254	9,092	12,089	413,165
Tier I 比率(%)	9.83	0.32	0.28	9.51
うち期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額(△)	-	-	-	-
③Tier II (百万円)	217,573	9,838	9,893	207,735
Tier II 比率(%)	5.03	0.28	0.23	4.75
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	-	-	-	-
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	35,310	△24	△111	35,334
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	170,000	10,000	10,000	160,000
(エ)内部格付手法採用行において、適格引当金が期待損失額を上回る額	12,263	△137	5	12,400
④控除項目(百万円)	91,653	△19,536	△22,760	111,189
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	85,000	△19,000	△22,000	104,000
うち期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額	-	-	-	-
うち株式等エクスポージャーの期待損失額(PD/LGD方式適用分)	214	△538	△1,073	752
うち特定貸付債権エクスポージャー(自己資本控除分)	5,764	592	467	5,172
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	674	△63	382	737
⑤自己資本②+③-④(百万円)	551,174	38,466	44,743	512,708
⑥リスクアセット(百万円)	4,325,471	△46,716	△247	4,372,187
自己資本に含まれる繰延税金資産	75,344	△10,034	△17,669	85,378

【熊本ファミリー銀行単体】(注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは標準的手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
		22/3末比	21/9末比		
①自己資本比率(%) ⑤/⑥	9.76	0.39	0.40	9.37	9.36
②Tier I (百万円)	55,239	2,252	1,816	52,987	53,423
Tier I 比率(%)	7.60	0.38	0.38	7.22	7.22
③Tier II (百万円)	15,757	△61	△115	15,818	15,872
Tier II 比率(%)	2.17	0.02	0.03	2.15	2.14
(ア)うち一般貸倒引当金の 自己資本への算入額	4,537	△46	△83	4,583	4,620
(イ)うち自己資本に計上され た土地再評価差額金	1,219	△15	△32	1,234	1,251
(ウ)うち劣後ローン(債券)の 自己資本への算入額	10,000	-	-	10,000	10,000
④控除項目(百万円)	82	10	7	72	75
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的 な保有相当額	50	-	-	50	50
うち証券化エクスポージャー (自己資本控除分)	32	10	7	22	25
⑤自己資本②+③-④(百万円)	70,913	2,180	1,694	68,733	69,219
⑥リスクアセット(百万円)	726,004	△7,343	△13,212	733,347	739,216
自己資本に含まれる繰延税金資産	18,529	-	-	18,529	18,529

【親和銀行連結】(注)自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは標準的手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
		22/3末比		
①自己資本比率(%) ⑤/⑥	11.55	0.16	1.21	11.39
②Tier I (百万円)	76,979	7,653	10,168	69,326
Tier I 比率(%)	8.12	0.86	1.28	7.26
③Tier II (百万円)	32,572	△6,818	△1,491	39,390
Tier II 比率(%)	3.43	△0.69	△0.06	4.12
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	5,923	△39	△173	5,962
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	11,348	△180	△578	11,528
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	15,300	△6,600	△740	21,900
④控除項目(百万円)	—	—	—	—
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	—	—	—	—
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	—	—	—	—
⑤自己資本②+③-④(百万円)	109,551	835	8,677	108,716
⑥リスクアセット(百万円)	947,831	△6,114	△27,576	953,945
自己資本に含まれる繰延税金資産	18,304	0	617	18,304

【親和銀行単体】(注)自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは標準的手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
		22/3末比		
①自己資本比率(%) ⑤/⑥	11.59	0.14	1.33	11.45
②Tier I (百万円)	76,766	7,498	11,223	65,543
Tier I 比率(%)	8.14	0.84	1.39	7.30
③Tier II (百万円)	32,541	△6,816	△1,489	39,357
Tier II 比率(%)	3.45	△0.69	△0.05	4.14
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	5,892	△36	△171	5,928
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	11,348	△180	△578	11,528
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	15,300	△6,600	△740	21,900
④控除項目(百万円)	—	—	—	—
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	—	—	—	—
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	—	—	—	—
⑤自己資本②+③-④(百万円)	109,307	682	9,733	108,625
⑥リスクアセット(百万円)	942,844	△5,774	△27,257	948,618
自己資本に含まれる繰延税金資産	17,715	—	—	17,715

6. ROE

【FFG連結】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒繰入前)	13.81	△0.08	13.89
業務純益ベース	13.47	1.88	11.59
中間純利益ベース	5.91	△3.06	8.97

(注) 算式 $\frac{\text{(実質)業務純益または中間純利益}}{\text{(期首純資産+中間期末純資産)} \div 2} \times 365 \div 183$

以下、3行単体合算、福岡銀行、熊本ファミリー銀行及び親和銀行においても同様であります。

【3行単体合算】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒繰入前)	13.77	1.51	12.26
業務純益ベース	13.46	2.93	10.53
中間純利益ベース	7.69	△1.64	9.33

【福岡銀行単体】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒繰入前)	13.38	0.83	12.55
業務純益ベース	12.33	2.28	10.05
中間純利益ベース	6.39	△3.93	10.32

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒繰入前)	14.87	3.36	11.51
業務純益ベース	18.32	6.96	11.36
中間純利益ベース	7.75	4.56	3.19

【親和銀行単体】

(単位:%)

	22年度中間期	前期比	21年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒繰入前)	14.89	3.82	11.07
業務純益ベース	15.73	2.96	12.77
中間純利益ベース	13.48	6.04	7.44

7. 役職員数

【FFG単体】

(単位:人)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
役員数	16	0	0	16	16
執行役員数	5	△1	△1	6	6
職員数	98	12	△6	86	104
合計	119	11	△7	108	126

(注)職員数は、専担者を記載しております。(子銀行との兼務者は除いております。)

【3行単体合算】

(単位:人)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
役員数	35	3	2	32	33
執行役員数	22	△3	△3	25	25
職員数	6,141	35	△341	6,106	6,482
合計	6,198	35	△342	6,163	6,540

【福岡銀行単体】

(単位:人)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
役員数	16	1	1	15	15
執行役員数	9	△1	△1	10	10
職員数	3,791	31	△107	3,760	3,898
合計	3,816	31	△107	3,785	3,923

(注)職員数は、行外への出向者を除き、行外から受け入れた出向者を含んでおります。また嘱託者及び海外現地採用者は除いております。以下、熊本ファミリー銀行及び親和銀行についても同様であります。

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:人)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
役員数	10	2	1	8	9
執行役員数	6	0	0	6	6
職員数	976	4	△66	972	1,042
合計	992	6	△65	986	1,057

【親和銀行単体】

(単位:人)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
役員数	11	2	2	9	9
執行役員数	7	△2	△2	9	9
職員数	1,374	0	△168	1,374	1,542
合計	1,392	0	△168	1,392	1,560

8. 拠点数

【3行単体合算】

(単位:店)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内本支店(含む出張所)	332	0	△2	332	334
福岡県	158	0	0	158	158
熊本県	64	0	0	64	64
長崎県	86	0	△2	86	88
その他九州	18	0	0	18	18
九州外	6	0	0	6	6
海外駐在員事務所	3	0	0	3	3
合 計	335	0	△2	335	337

【福岡銀行単体】

(単位:店)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内本支店(含む出張所)	166	0	0	166	166
福岡県	149	0	0	149	149
熊本県	1	0	0	1	1
長崎県	2	0	0	2	2
その他九州	9	0	0	9	9
九州外	5	0	0	5	5
海外駐在員事務所	3	0	0	3	3
合 計	169	0	0	169	169

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:店)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内本支店(含む出張所)	70	0	0	70	70
福岡県	4	0	0	4	4
熊本県	63	0	0	63	63
長崎県	—	—	—	—	—
その他九州	3	0	0	3	3
九州外	—	—	—	—	—
海外駐在員事務所	—	—	—	—	—
合 計	70	0	0	70	70

【親和銀行単体】

(単位:店)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内本支店(含む出張所)	96	0	△2	96	98
福岡県	5	0	0	5	5
熊本県	—	—	—	—	—
長崎県	84	0	△2	84	86
その他九州	6	0	0	6	6
九州外	1	0	0	1	1
海外駐在員事務所	—	—	—	—	—
合 計	96	0	△2	96	98

III 貸出金等の状況 (部分直接償却後)

▶部分直接償却とは、

「自己査定により回収不能又は無価値資産と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類金額)を取立不能見込額として債権から直接減額すること」です。

▶【福岡銀行単体】の21年9月末のリスク管理債権及び金融再生法開示債権等には分割子会社を含みます。(以下同様)

1. リスク管理債権 (銀行法ベース) の状況

※未収利息計上基準：破綻先・実質破綻先・破綻懸念先を一律不計上

【FFG連結】

(単位:百万円)

		22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	7,139	△ 1,101	△ 12,804	8,240	19,943
	延滞債権	163,058	3,546	△ 23,147	159,512	186,205
	3カ月以上延滞債権	525	△ 1,116	△ 547	1,641	1,072
	貸出条件緩和債権	41,169	△ 2,868	△ 38,230	44,037	79,399
	合計	211,893	△ 1,539	△ 74,727	213,432	286,620
部分直接償却額		70,880	△ 20,502	△ 66,915	91,382	137,795
貸出金残高(未残)		8,366,927	334,413	253,360	8,032,514	8,113,567

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

		22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	5,379	△ 1,555	△ 8,420	6,934	13,799
	延滞債権	124,119	1,596	△ 27,917	122,523	152,036
	3カ月以上延滞債権	312	△ 883	△ 659	1,195	971
	貸出条件緩和債権	36,543	△ 505	△ 31,306	37,048	67,849
	合計	166,354	△ 1,348	△ 68,302	167,702	234,656
部分直接償却額		66,302	△ 21,404	△ 66,457	87,706	132,759
貸出金残高(未残)		6,434,441	323,313	235,269	6,111,128	6,199,172

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

		22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	456	△ 49	32	505	424
	延滞債権	14,516	2,659	3,495	11,857	11,021
	3カ月以上延滞債権	81	△ 66	81	147	-
	貸出条件緩和債権	1,461	138	△ 652	1,323	2,113
	合計	16,516	2,682	2,958	13,834	13,558
部分直接償却額		1,276	450	54	826	1,222
貸出金残高(未残)		850,725	1,095	△ 176	849,630	850,901

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

		22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	992	207	△ 4,715	785	5,707
	延滞債権	24,104	△ 680	1,217	24,784	22,887
	3カ月以上延滞債権	131	△ 167	31	298	100
	貸出条件緩和債権	3,164	△ 2,502	△ 7,056	5,666	10,220
	合計	28,392	△ 3,142	△ 10,525	31,534	38,917
部分直接償却額		3,083	444	△ 637	2,639	3,720
貸出金残高(未残)		1,173,752	△ 7,955	△ 4,489	1,181,707	1,178,241

2. 貸倒引当金の状況

<償却・引当基準>

自己査定における区分		引当基準
正常先		対象債権残高に対し、今後1年間の予想損失率(※1)を使用し、一般引当を実施。
要注意先		対象債権残高に対し、今後1年間又は3年間の予想損失率(※1)を使用し、一般引当を実施。
要管理先	DCF先(※2)	対象先の将来キャッシュ・フローの割引現在価値を見積もり、当該額を対象債権残高より控除した残額に対し一般引当を実施。
	一般先	対象債権残高に対し、今後3年間の予想損失率(※1)を使用し、一般引当を実施。
破綻懸念先	DCF先(※2)	対象先の将来キャッシュ・フローの割引現在価値を見積もり、当該額を対象債権残高より控除した残額に対し個別引当を実施。
	一般先	担保・保証で保全されていない部分に対し、今後3年間の予想損失率(※1)を使用し、個別引当を実施。
実質破綻先・破綻先		担保・保証で保全されていない部分に対し、100%の個別引当を実施。

(※1) 予想損失率の算定は、デフォルト率を使用しております。

(※2) DCF法対象先の選定基準は以下のとおりであります。

- ① 要管理先・破綻懸念先のうち債権額が一定額以上の先(その他要注意先の一部を含む、福岡銀行は債権額10億円以上、熊本ファミリー銀行及び親和銀行は債権額5億円以上)
- ② 福岡銀行については、上記①のグループ企業のうち、グループ企業自身も要管理先・破綻懸念先等で、かつ債権額5億円以上の先
- ③ 上記①、②に基づきDCF法対象とした先が、その他要注意先へ上方遷移した場合も原則、DCF法の対象とする。

【FFG連結】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
貸倒引当金	140,823	△ 2,289	△ 18,622	143,112	159,445
一般貸倒引当金	84,806	△ 450	132	85,256	84,674
個別貸倒引当金	56,016	△ 1,839	△ 18,755	57,855	74,771

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
貸倒引当金	98,496	△ 1,759	△ 9,534	100,255	108,030
一般貸倒引当金	55,314	922	6,139	54,392	49,175
個別貸倒引当金	43,181	△ 2,681	△ 15,673	45,862	58,854

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
貸倒引当金	11,017	226	1,616	10,791	9,401
一般貸倒引当金	7,915	△ 976	1,270	8,891	6,645
個別貸倒引当金	3,101	1,201	345	1,900	2,756

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
貸倒引当金	18,315	△ 1,160	△ 12,152	19,475	30,467
一般貸倒引当金	10,725	△ 423	△ 9,200	11,148	19,925
個別貸倒引当金	7,590	△ 736	△ 2,952	8,326	10,542

3. リスク管理債権に対する保全状況

【FFG連結】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権額 (A)	211,893	△ 1,539	△ 74,727	213,432	286,620
保全等カバー	164,046	△ 3,190	△ 58,668	167,236	222,714
貸倒引当金 (B)	61,515	△ 4,247	△ 29,539	65,762	91,054
担保・保証等 (C)	102,530	1,056	△ 29,130	101,474	131,660
保全率 (B+C)/A	77.41%	△0.94%	△0.29%	78.35%	77.70%
貸倒引当金 (B/A)	29.03%	△1.78%	△2.73%	30.81%	31.76%
担保・保証等 (C/A)	48.38%	0.84%	2.45%	47.54%	45.93%

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権額 (A)	166,354	△ 1,348	△ 68,302	167,702	234,656
保全等カバー	126,885	△ 3,029	△ 51,851	129,914	178,736
貸倒引当金 (B)	49,986	△ 3,750	△ 24,353	53,736	74,339
担保・保証等 (C)	76,899	722	△ 27,497	76,177	104,396
保全率 (B+C)/A	76.27%	△1.19%	0.11%	77.46%	76.16%
貸倒引当金 (B/A)	30.04%	△2.00%	△1.63%	32.04%	31.67%
担保・保証等 (C/A)	46.22%	0.80%	1.74%	45.42%	44.48%

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権額 (A)	16,516	2,682	2,958	13,834	13,558
保全等カバー	12,965	1,976	1,612	10,989	11,353
貸倒引当金 (B)	3,165	1,188	262	1,977	2,903
担保・保証等 (C)	9,800	788	1,350	9,012	8,450
保全率 (B+C)/A	78.49%	△0.94%	△5.24%	79.43%	83.73%
貸倒引当金 (B/A)	19.16%	4.87%	△2.25%	14.29%	21.41%
担保・保証等 (C/A)	59.33%	△5.81%	△2.99%	65.14%	62.32%

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
リスク管理債権額 (A)	28,392	△ 3,142	△ 10,525	31,534	38,917
保全等カバー	23,570	△ 2,406	△ 9,143	25,976	32,713
貸倒引当金 (B)	8,340	△ 1,686	△ 5,571	10,026	13,911
担保・保証等 (C)	15,229	△ 720	△ 3,572	15,949	18,801
保全率 (B+C)/A	83.01%	0.64%	△1.04%	82.37%	84.05%
貸倒引当金 (B/A)	29.37%	△2.42%	△6.37%	31.79%	35.74%
担保・保証等 (C/A)	53.63%	3.06%	5.32%	50.57%	48.31%

4. 金融再生法開示債権の状況

※金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります。

【FFG連結】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29,401	△ 3,714	△ 34,346	33,115	63,747
危険債権	146,819	6,189	△ 1,667	140,630	148,486
要管理債権	41,695	△ 3,984	△ 38,776	45,679	80,471
合計(金融再生法開示債権)	217,916	△ 1,509	△ 74,790	219,425	292,706
正常債権	8,264,324	324,628	315,263	7,939,696	7,949,061
総与信残高	8,482,241	323,119	240,474	8,159,122	8,241,767
部分直接償却額	76,683	△ 20,734	△ 67,256	97,417	143,939

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	19,434	△ 2,387	△ 24,818	21,821	44,252
危険債権	111,377	2,667	△ 11,850	108,710	123,227
要管理債権	36,855	△ 1,388	△ 31,965	38,243	68,820
合計(金融再生法開示債権)	167,668	△ 1,107	△ 68,633	168,775	236,301
正常債権	6,344,269	314,976	290,146	6,029,293	6,054,123
要管理債権以外の要注意先債権	883,272	△ 19,602	35,909	902,874	847,363
正常先債権	5,460,996	334,577	254,237	5,126,419	5,206,759
総与信残高	6,511,937	313,868	221,513	6,198,069	6,290,424
部分直接償却額	67,861	△ 21,594	△ 66,758	89,455	134,619

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,256	△ 153	△ 347	2,409	2,603
危険債権	13,252	2,936	4,037	10,316	9,215
要管理債権	1,543	73	△ 570	1,470	2,113
合計(金融再生法開示債権)	17,053	2,856	3,121	14,197	13,932
正常債権	848,562	△ 2,268	△ 4,084	850,830	852,646
要管理債権以外の要注意先債権	158,022	△ 453	△ 2,104	158,475	160,126
正常先債権	690,540	△ 1,815	△ 1,980	692,355	692,520
総与信残高	865,615	588	△ 964	865,027	866,579
部分直接償却額	2,037	304	△ 287	1,733	2,324

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,449	△ 1,146	△ 9,288	4,595	12,737
危険債権	21,995	619	5,973	21,376	16,022
要管理債権	3,295	△ 2,670	△ 7,026	5,965	10,321
合計(金融再生法開示債権)	28,740	△ 3,197	△ 10,341	31,937	39,081
正常債権	1,160,202	△ 6,718	3,508	1,166,920	1,156,694
要管理債権以外の要注意先債権	147,886	184	△ 4,386	147,702	152,272
正常先債権	1,012,315	△ 6,902	7,893	1,019,217	1,004,422
総与信残高	1,188,942	△ 9,915	△ 6,834	1,198,857	1,195,776
部分直接償却額	3,154	501	△ 566	2,653	3,720

5. 金融再生法開示債権の保全状況

(1) 総括

【FFG連結】

(単位:百万円)

	債権額	保全率	保全・引当状況		引当率(※)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29,401	100.00%	保全アンカパー	6,419	100.00%
			(個別貸倒引当金)	(6,419)	
			担保・保証による保全	22,981	
危険債権	146,819	82.36%	保全アンカパー	74,645	65.32%
			(個別貸倒引当金)	(48,759)	
			担保・保証による保全	72,174	
要管理債権	41,695	47.49%	保全アンカパー	31,481	30.46%
			(一般貸倒引当金)	(9,590)	
			担保・保証による保全	10,214	
開示債権計	217,916	78.07%	保全アンカパー部分に対する引当率		57.54%

正常債権	8,264,324
合計	8,482,241

※引当率とは、保全アンカパー部分に対する貸倒引当金の計上割合。
以下、福岡銀行、熊本ファミリー銀行及び親和銀行においても同様であります。

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	債権額	保全率	保全・引当状況		引当率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	19,434	100.00%	保全アンカパー	3,542	100.00%
			(個別貸倒引当金)	(3,542)	
			担保・保証による保全	15,892	
危険債権	111,377	82.05%	保全アンカパー	58,902	66.06%
			(個別貸倒引当金)	(38,911)	
			担保・保証による保全	52,474	
要管理債権	36,855	47.94%	保全アンカパー	27,525	30.29%
			(一般貸倒引当金)	(8,339)	
			担保・保証による保全	9,329	
開示債権計	167,668	76.63%	保全アンカパー部分に対する引当率		56.45%

正常債権	6,344,269
合計	6,511,937

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	債権額	保全率	保全・引当状況		引当率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,256	100.00%	保全アンカパー	354	100.00%
			(個別貸倒引当金)	(354)	
			担保・保証による保全	1,901	
危険債権	13,252	78.31%	保全アンカパー	5,619	48.83%
			(個別貸倒引当金)	(2,744)	
			担保・保証による保全	7,633	
要管理債権	1,543	43.27%	保全アンカパー	1,213	27.78%
			(一般貸倒引当金)	(337)	
			担保・保証による保全	330	
開示債権計	17,053	78.01%	保全アンカパー部分に対する引当率		47.81%

正常債権	848,562
合計	865,615

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	債権額	保全率	保全・引当状況		引当率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,449	100.00%	保全アンカパー	411	100.00%
			(個別貸倒引当金)	(411)	
			担保・保証による保全	3,038	
危険債権	21,995	86.29%	保全アンカパー	10,093	70.14%
			(個別貸倒引当金)	(7,080)	
			担保・保証による保全	11,901	
要管理債権	3,295	44.52%	保全アンカパー	2,741	33.27%
			(一般貸倒引当金)	(912)	
			担保・保証による保全	554	
開示債権計	28,740	83.14%	保全アンカパー部分に対する引当率		63.43%

正常債権	1,160,202
合計	1,188,942

(2) 保全内訳

【FFG連結】

■平成22年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29,401	29,401	6,419	22,981	100.00%
危険債権	146,819	120,933	48,759	72,174	82.36%
要管理債権	41,695	19,804	9,590	10,214	47.49%
合計	217,916	170,140	64,770	105,370	78.07%

■平成22年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	33,115	33,115	7,336	25,778	100.00%
危険債権	140,630	117,440	49,171	68,268	83.50%
要管理債権	45,679	22,290	10,982	11,308	48.79%
合計	219,425	172,847	67,491	105,356	78.77%

■平成22年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	△ 3,714	△ 3,714	△ 917	△ 2,797	0.00%
危険債権	6,189	3,493	△ 412	3,906	△ 1.14%
要管理債権	△ 3,984	△ 2,486	△ 1,392	△ 1,094	△ 1.30%
合計	△ 1,509	△ 2,707	△ 2,721	14	△ 0.70%

【福岡銀行単体】

■平成22年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	19,434	19,434	3,542	15,892	100.00%
危険債権	111,377	91,386	38,911	52,474	82.05%
要管理債権	36,855	17,669	8,339	9,329	47.94%
合計	167,668	128,491	50,794	77,697	76.63%

■平成22年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	21,821	21,821	5,246	16,574	100.00%
危険債権	108,710	90,308	39,877	50,431	83.07%
要管理債権	38,243	18,593	8,776	9,816	48.61%
合計	168,775	130,724	53,900	76,823	77.45%

■平成22年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	△ 2,387	△ 2,387	△ 1,704	△ 682	0.00%
危険債権	2,667	1,078	△ 966	2,043	△ 1.02%
要管理債権	△ 1,388	△ 924	△ 437	△ 487	△ 0.67%
合計	△ 1,107	△ 2,233	△ 3,106	874	△ 0.82%

【熊本ファミリー銀行単体】

■平成22年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,256	2,256	354	1,901	100.00%
危険債権	13,252	10,378	2,744	7,633	78.31%
要管理債権	1,543	668	337	330	43.27%
合計	17,053	13,302	3,436	9,865	78.01%

■平成22年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,409	2,409	385	2,024	100.00%
危険債権	10,316	8,272	1,514	6,757	80.18%
要管理債権	1,470	571	314	257	38.84%
合計	14,197	11,254	2,214	9,039	79.27%

■平成22年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	△ 153	△ 153	△ 31	△ 123	0.00%
危険債権	2,936	2,106	1,230	876	△ 1.87%
要管理債権	73	97	23	73	4.43%
合計	2,856	2,048	1,222	826	△ 1.26%

【親和銀行単体】

■平成22年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,449	3,449	411	3,038	100.00%
危険債権	21,995	18,981	7,080	11,901	86.29%
要管理債権	3,295	1,467	912	554	44.52%
合計	28,740	23,897	8,403	15,493	83.14%

■平成22年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,595	4,595	445	4,149	100.00%
危険債権	21,376	18,638	7,756	10,881	87.19%
要管理債権	5,965	3,125	1,891	1,234	52.38%
合計	31,937	26,358	10,093	16,265	82.53%

■平成22年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	△ 1,146	△ 1,146	△ 34	△ 1,111	0.00%
危険債権	619	343	△ 676	1,020	△ 0.90%
要管理債権	△ 2,670	△ 1,658	△ 979	△ 680	△ 7.86%
合計	△ 3,197	△ 2,461	△ 1,690	△ 772	0.61%

6. 子銀行における自己査定状況

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

自己査定結果及び分類額

対象:貸出金+その他の債権(注1)

金融再生法基準に基づく開示債権	
部分直接償却実施前 (参考)	部分直接償却実施後

対象:貸出金+その他の債権(注1)

銀行法基準
リスク管理債権

対象:貸出金のみ

債務者区分	分類額			
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 5,480	2,658	2,822	— (949)	— (314)
実質破綻先 13,954	5,253	8,700	— (2,259)	— (18)
破綻懸念先 110,917	61,171	30,215	19,530 (58,442)	
要注意先 917,186	要管理先 41,533	3,151	38,382	
	要管理先以外の 要注意先 875,653	180,430	695,222	
正常先 5,437,455	5,437,455			
合計 6,484,994	5,690,120	775,342	19,530	—

債権総額に占める割合	87.7%	12.0%	0.3%	—
------------	-------	-------	------	---

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 87,180
危険債権 111,494
要管理債権 36,855
小計 235,529
正常債権 6,344,269
合計 6,579,798

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 19,434 保全率 100.00%
部分直接償却額 67,745
危険債権 111,377 保全率 82.05%
部分直接償却額 116
要管理債権 36,855 保全率 47.94%
小計 167,668
正常債権 6,344,269
合計 6,511,937

開示区分 <貸出金残高>
破綻先債権 5,379
延滞債権 124,119
3か月以上延滞債権 312
貸出条件緩和債権 36,543
合計 166,354

(注1) その他の債権: 外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金等。なお、金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります。

(注2) 自己査定結果における()は分類額に対する引当金残高です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みです。

(注3) 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等(優良担保・保証)を控除した額をすべてⅡ分類としております。

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

自己査定結果及び分類額

対象:貸出金+その他の債権(注1)

金融再生法基準に基づく開示債権	
部分直接償却実施前 (参考)	部分直接償却実施後

対象:貸出金+その他の債権(注1)

銀行法基準
リスク管理債権

対象:貸出金のみ

債務者区分	分類額			
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 463	214	249	— (60)	— (11)
実質破綻先 1,792	697	1,095	— (161)	— (121)
破綻懸念先 13,252	6,019	4,358	2,874 (2,744)	
要注意先 159,225	要管理先 1,758	208	1,549	
	要管理先以外の要注意先 157,467	42,243	115,223	
正常先 684,620	684,620			
合計 859,355	734,004	122,476	2,874	—

債権総額に占める割合	85.4%	14.3%	0.3%	—
------------	-------	-------	------	---

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 4,268
危険債権 13,277
要管理債権 1,543
小計 19,090
正常債権 848,562
合計 867,652

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 2,256 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 保全率 100.00% </div> 部分直接償却額 2,037
危険債権 13,252 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 保全率 78.31% </div>
要管理債権 1,543 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 保全率 43.27% </div>
小計 17,053
正常債権 848,562
合計 865,615

開示区分 <貸出金残高>
破綻先債権 456
延滞債権 14,516
3か月以上延滞債権 81
貸出条件緩和債権 1,461
合計 16,516

(注1)その他の債権:外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金等。なお、金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります。

(注2)自己査定結果における()は分類額に対する引当金残高です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みです。

(注3)要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等(優良担保・保証)を控除した額をすべてⅡ分類としております。

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

自己査定結果及び分類額

対象:貸出金+その他の債権(注1)

金融再生法基準に基づく開示債権	
部分直接償却実施前 (参考)	部分直接償却実施後

対象:貸出金+その他の債権(注1)

銀行法基準
リスク管理債権

対象:貸出金のみ

債務者区分	分類額			
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 1,001	386	615	— (125)	— (11)
実質破綻先 2,447	859	1,588	— (267)	— (7)
破綻懸念先 21,828	12,264	6,550	3,013 (7,080)	
要注意先 150,692	要管理先 6,902	459	6,442	
	要管理先以外の 要注意先 143,789	45,665	98,123	
正常先 1,009,724	1,009,724			
合計 1,185,694	1,069,360	113,320	3,013	—
債権総額に占める割合	90.2%	9.6%	0.2%	—

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 6,600
危険債権 21,998
要管理債権 3,295
小計 31,894
正常債権 1,160,202
合計 1,192,096

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 3,449 保全率 100.00%
部分直接償却額 3,151
危険債権 21,995 保全率 86.29%
部分直接償却額 2
要管理債権 3,295 保全率 44.52%
小計 28,740
正常債権 1,160,202
合計 1,188,942

開示区分 <貸出金残高>
破綻先債権 992
延滞債権 24,104
3か月以上延滞債権 131
貸出条件緩和債権 3,164
合計 28,392

(注1) その他の債権:外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金等。なお、金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります。

(注2) 自己査定結果における()は分類額に対する引当金残高です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みです。

(注3) 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等(優良担保・保証)を控除した額をすべてⅡ分類としております。

7. 業種別貸出金状況等

【3行単体合算】

(1) 業種別貸出金

(単位: 百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	8,458,836	100.0%	316,473	230,626	8,142,363	8,228,210
製造業	665,795	7.9%	4,382	△ 14,924	661,413	680,719
農業、林業	14,860	0.2%	△ 7	237	14,867	14,623
漁業	13,401	0.2%	107	△ 1,227	13,294	14,628
鉱業、採石業、砂利採取業	10,938	0.1%	64	107	10,874	10,831
建設業	255,812	3.0%	△ 14,967	△ 18,777	270,779	274,589
電気・ガス・熱供給・水道業	78,514	0.9%	11,939	397	66,575	78,117
情報通信業	56,869	0.7%	5,761	△ 237	51,108	57,106
運輸業、郵便業	321,202	3.8%	11,963	16,315	309,239	304,887
卸売業、小売業	960,016	11.3%	1,718	△ 22,493	958,298	982,509
金融業、保険業	344,636	4.1%	△ 12,475	△ 34,693	357,111	379,329
不動産業、物品賃貸業	1,227,922	14.5%	23,865	27,708	1,204,057	1,200,214
その他各種サービス業	868,052	10.3%	△ 14,378	△ 30,101	882,430	898,153
地方公共団体	1,268,512	15.0%	272,464	244,313	996,048	1,024,199
その他	2,372,307	28.0%	26,037	64,001	2,346,270	2,308,306

(注) 金融業・保険業向け貸出金には、福岡銀行のふくおかフィナンシャルグループ向け貸出金(22年9月末 85,000百万円、22年3月末 104,000百万円及び21年9月末 107,000百万円)を含んでおります。

(2) 業種別リスク管理債権

(単位: 百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	211,264	100.0%	△ 1,806	△ 75,867	213,070	287,131
製造業	21,827	10.3%	△ 716	△ 2,697	22,543	24,524
農業、林業	524	0.2%	△ 44	△ 200	568	724
漁業	1,883	0.9%	△ 53	△ 550	1,936	2,433
鉱業、採石業、砂利採取業	1,081	0.5%	44	795	1,037	286
建設業	14,741	7.0%	1,563	△ 682	13,178	15,423
電気・ガス・熱供給・水道業	18	0.0%	△ 1	△ 7	19	25
情報通信業	1,144	0.5%	△ 84	△ 408	1,228	1,552
運輸業、郵便業	11,554	5.5%	△ 592	△ 3,870	12,146	15,424
卸売業、小売業	40,027	18.9%	△ 64	△ 25,094	40,091	65,121
金融業、保険業	2,249	1.1%	△ 556	△ 8,825	2,805	11,074
不動産業、物品賃貸業	43,980	20.8%	4,397	△ 3,745	39,583	47,725
その他各種サービス業	48,873	23.1%	△ 5,908	△ 28,315	54,781	77,188
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	23,363	11.2%	208	△ 2,263	23,155	25,626

(3) 業種別金融再生法開示債権

(単位: 百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	213,461	100.0%	△ 1,448	△ 75,853	214,909	289,314
製造業	22,320	10.5%	△ 782	△ 2,295	23,102	24,615
農業、林業	526	0.2%	△ 45	△ 225	571	751
漁業	1,906	0.9%	△ 53	△ 550	1,959	2,456
鉱業、採石業、砂利採取業	1,081	0.5%	44	758	1,037	323
建設業	14,781	6.9%	1,465	△ 784	13,316	15,565
電気・ガス・熱供給・水道業	18	0.0%	△ 1	△ 7	19	25
情報通信業	1,144	0.5%	△ 84	△ 412	1,228	1,556
運輸業、郵便業	11,569	5.4%	△ 601	△ 3,884	12,170	15,453
卸売業、小売業	40,635	19.0%	384	△ 25,012	40,251	65,647
金融業、保険業	2,253	1.1%	△ 552	△ 8,821	2,805	11,074
不動産業、物品賃貸業	44,183	20.7%	4,570	△ 3,923	39,613	48,106
その他各種サービス業	49,620	23.2%	△ 6,045	△ 28,471	55,665	78,091
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	23,425	11.1%	252	△ 2,220	23,173	25,645

【福岡銀行単体】

(1) 業種別貸出金

(単位: 百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	6,434,357	100.0%	323,331	235,289	6,111,026	6,199,068
製造業	523,939	8.1%	8,961	△ 11,769	514,978	535,708
農業、林業	9,381	0.2%	△ 351	1,182	9,732	8,199
漁業	8,881	0.1%	△ 61	△ 293	8,942	9,174
鉱業、採石業、砂利採取業	5,718	0.1%	388	415	5,330	5,303
建設業	168,178	2.6%	△ 7,395	△ 13,637	175,573	181,815
電気・ガス・熱供給・水道業	64,777	1.0%	12,120	2,179	52,657	62,598
情報通信業	43,556	0.7%	3,164	3,719	40,392	39,837
運輸業、郵便業	277,463	4.3%	16,094	18,710	261,369	258,753
卸売業、小売業	775,526	12.1%	3,380	△ 7,371	772,146	782,897
金融業、保険業	285,064	4.4%	199	△ 18,116	284,865	303,180
不動産業、物品賃貸業	965,220	15.0%	8,450	15,156	956,770	950,064
その他各種サービス業	587,822	9.1%	△ 3,919	△ 17,844	591,741	605,666
地方公共団体	1,023,564	15.9%	257,907	208,181	765,657	815,383
その他	1,695,268	26.4%	24,394	54,777	1,670,874	1,640,491

(2) 業種別リスク管理債権

(単位: 百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	166,354	100.0%	△ 1,348	△ 68,302	167,702	234,656
製造業	15,707	9.4%	△ 1,161	△ 5,670	16,868	21,377
農業、林業	283	0.2%	△ 27	△ 271	310	554
漁業	713	0.4%	△ 38	△ 83	751	796
鉱業、採石業、砂利採取業	399	0.2%	137	195	262	204
建設業	10,622	6.4%	1,062	△ 1,374	9,560	11,996
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	△ 6	—	6
情報通信業	703	0.4%	2	△ 14	701	717
運輸業、郵便業	10,349	6.2%	△ 424	△ 3,779	10,773	14,128
卸売業、小売業	33,102	19.9%	186	△ 19,445	32,916	52,547
金融業、保険業	464	0.3%	311	△ 6,100	153	6,564
不動産業、物品賃貸業	37,707	22.7%	3,626	△ 4,132	34,081	41,839
その他各種サービス業	41,687	25.1%	△ 5,266	△ 28,108	46,953	69,795
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	14,618	8.8%	244	491	14,374	14,127

(3) 業種別金融再生法開示債権

(単位: 百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	167,668	100.0%	△ 1,107	△ 68,633	168,775	236,301
製造業	16,033	9.6%	△ 1,177	△ 5,435	17,210	21,468
農業、林業	284	0.2%	△ 28	△ 295	312	579
漁業	713	0.4%	△ 39	△ 83	752	796
鉱業、採石業、砂利採取業	399	0.2%	137	158	262	241
建設業	10,652	6.3%	973	△ 1,480	9,679	12,132
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	△ 6	—	6
情報通信業	703	0.4%	2	△ 18	701	721
運輸業、郵便業	10,355	6.1%	△ 432	△ 3,802	10,787	14,157
卸売業、小売業	33,487	20.0%	449	△ 19,546	33,038	53,033
金融業、保険業	467	0.3%	314	△ 6,097	153	6,564
不動産業、物品賃貸業	37,900	22.6%	3,798	△ 4,315	34,102	42,215
その他各種サービス業	42,003	25.1%	△ 5,398	△ 28,242	47,401	70,245
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	14,672	8.8%	294	535	14,378	14,137

【熊本ファミリー銀行単体】

(1) 業種別貸出金

(単位:百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	850,725	100.0%	1,095	△ 176	849,630	850,901
製造業	46,590	5.5%	150	△ 793	46,440	47,383
農業、林業	3,333	0.4%	84	△ 1,170	3,249	4,503
漁業	1,370	0.2%	55	△ 603	1,315	1,973
鉱業、採石業、砂利採取業	1,076	0.1%	△ 95	△ 106	1,171	1,182
建設業	41,175	4.8%	△ 3,275	△ 1,282	44,450	42,457
電気・ガス・熱供給・水道業	2,704	0.3%	△ 142	△ 100	2,846	2,804
情報通信業	5,966	0.7%	5	△ 819	5,961	6,785
運輸業、郵便業	14,491	1.7%	△ 1,941	△ 155	16,432	14,646
卸売業、小売業	80,971	9.5%	△ 1,550	△ 4,514	82,521	85,485
金融業、保険業	21,640	2.6%	△ 4,438	△ 5,697	26,078	27,337
不動産業、物品賃貸業	152,398	17.9%	1,641	1,808	150,757	150,590
その他各種サービス業	139,002	16.3%	△ 2,355	△ 5,131	141,357	144,133
地方公共団体	46,725	5.5%	9,840	12,147	36,885	34,578
その他	293,284	34.5%	3,116	6,239	290,168	287,045

(2) 業種別リスク管理債権

(単位:百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	16,516	100.0%	2,682	2,958	13,834	13,558
製造業	1,505	9.1%	425	301	1,080	1,204
農業、林業	174	1.1%	△ 5	88	179	86
漁業	190	1.2%	△ 3	△ 278	193	468
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建設業	1,198	7.3%	43	322	1,155	876
電気・ガス・熱供給・水道業	18	0.1%	△ 1	△ 1	19	19
情報通信業	250	1.5%	△ 98	△ 118	348	368
運輸業、郵便業	186	1.1%	104	27	82	159
卸売業、小売業	2,822	17.1%	259	556	2,563	2,266
金融業、保険業	867	5.2%	309	△ 141	558	1,008
不動産業、物品賃貸業	2,903	17.6%	1,302	1,013	1,601	1,890
その他各種サービス業	2,881	17.4%	249	1,092	2,632	1,789
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	3,522	21.3%	98	97	3,424	3,425

(3) 業種別金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	17,053	100.0%	2,856	3,121	14,197	13,932
製造業	1,505	8.8%	425	301	1,080	1,204
農業、林業	175	1.0%	△ 5	87	180	88
漁業	190	1.1%	△ 3	△ 278	193	468
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建設業	1,202	7.0%	38	322	1,164	880
電気・ガス・熱供給・水道業	18	0.1%	△ 1	△ 1	19	19
情報通信業	251	1.5%	△ 97	△ 117	348	368
運輸業、郵便業	186	1.1%	103	27	83	159
卸売業、小売業	3,031	17.8%	444	739	2,587	2,292
金融業、保険業	868	5.1%	310	△ 140	558	1,008
不動産業、物品賃貸業	2,905	17.0%	1,303	1,015	1,602	1,890
その他各種サービス業	3,196	18.7%	242	1,069	2,954	2,127
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	3,526	20.8%	97	97	3,429	3,429

【親和銀行単体】

(1) 業種別貸出金

(単位:百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	1,173,752	100.0%	△ 7,955	△ 4,489	1,181,707	1,178,241
製造業	95,266	8.1%	△ 4,729	△ 2,362	99,995	97,628
農業、林業	2,146	0.2%	260	225	1,886	1,921
漁業	3,150	0.3%	113	△ 331	3,037	3,481
鉱業、採石業、砂利採取業	4,144	0.4%	△ 229	△ 202	4,373	4,346
建設業	46,459	4.0%	△ 4,297	△ 3,858	50,756	50,317
電気・ガス・熱供給・水道業	11,033	0.9%	△ 39	△ 1,682	11,072	12,715
情報通信業	7,347	0.6%	2,592	△ 3,137	4,755	10,484
運輸業、郵便業	29,248	2.5%	△ 2,190	△ 2,240	31,438	31,488
卸売業、小売業	103,519	8.8%	△ 112	△ 10,608	103,631	114,127
金融業、保険業	37,932	3.2%	△ 8,236	△ 10,880	46,168	48,812
不動産業、物品賃貸業	110,304	9.4%	13,774	10,744	96,530	99,560
その他各種サービス業	141,228	12.0%	△ 8,104	△ 7,126	149,332	148,354
地方公共団体	198,223	16.9%	4,717	23,985	193,506	174,238
その他	383,753	32.7%	△ 1,475	2,983	385,228	380,770

(2) 業種別リスク管理債権

(単位:百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	28,392	100.0%	△ 3,142	△ 10,525	31,534	38,917
製造業	4,614	16.3%	19	2,671	4,595	1,943
農業、林業	66	0.2%	△ 13	△ 18	79	84
漁業	979	3.4%	△ 13	△ 190	992	1,169
鉱業、採石業、砂利採取業	681	2.4%	△ 94	599	775	82
建設業	2,921	10.3%	458	370	2,463	2,551
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	189	0.7%	10	△ 278	179	467
運輸業、郵便業	1,019	3.6%	△ 272	△ 118	1,291	1,137
卸売業、小売業	4,102	14.4%	△ 510	△ 6,206	4,612	10,308
金融業、保険業	917	3.2%	△ 1,177	△ 2,585	2,094	3,502
不動産業、物品賃貸業	3,369	11.9%	△ 532	△ 627	3,901	3,996
その他各種サービス業	4,304	15.2%	△ 892	△ 1,300	5,196	5,604
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	5,231	18.4%	△ 126	△ 2,843	5,357	8,074

(3) 業種別金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	22年9月末	構成比	22/3末比	21/9末比	22年3月末	21年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	28,740	100.0%	△ 3,197	△ 10,341	31,937	39,081
製造業	4,781	16.6%	△ 31	2,838	4,812	1,943
農業、林業	66	0.2%	△ 13	△ 18	79	84
漁業	1,002	3.5%	△ 12	△ 190	1,014	1,192
鉱業、採石業、砂利採取業	681	2.4%	△ 94	599	775	82
建設業	2,926	10.2%	453	373	2,473	2,553
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	189	0.7%	10	△ 278	179	467
運輸業、郵便業	1,027	3.6%	△ 273	△ 110	1,300	1,137
卸売業、小売業	4,116	14.3%	△ 510	△ 6,206	4,626	10,322
金融業、保険業	917	3.2%	△ 1,177	△ 2,585	2,094	3,502
不動産業、物品賃貸業	3,378	11.7%	△ 531	△ 623	3,909	4,001
その他各種サービス業	4,420	15.4%	△ 890	△ 1,299	5,310	5,719
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	5,237	18.2%	△ 129	△ 2,842	5,366	8,079

8. 不良債権のオフバランス化実績

(1) 金融再生法開示債権について

ア. 債権残高の増減

【3行単体合算】

	22年3月末 (A)	22年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	2,149	1,751	384	2,135

(注) 新規発生分は22年度中間期に初めて開示債権となった先

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 399	△ 14

【福岡銀行単体】

	22年3月末 (A)	22年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	1,688	1,381	296	1,677

(注) 新規発生分は22年度中間期に初めて開示債権となった先

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 307	△ 11

【熊本ファミリー銀行単体】

	22年3月末 (A)	22年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	142	118	53	171

(注) 新規発生分は22年度中間期に初めて開示債権となった先

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 24	29

【親和銀行単体】

	22年3月末 (A)	22年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	319	252	35	287

(注) 新規発生分は22年度中間期に初めて開示債権となった先

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 67	△ 32

イ. オフバランス化の内訳

【3行単体合算】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	△ 15
イ 直接償却	△ 57
ウ 清算型処理	△ 2
エ 再建型処理	△ 0
オ 回収・返済	△ 160
小計	△ 234
カ 業況改善	△ 165
合計	△ 399

- ア 債権売却 (再生ファンドへの売却・バルクセール等)
- イ 部分直接償却実施額
- ウ 清算型倒産手続 (破産・特別清算) による債権切捨て・債権償却
- エ 再建型倒産手続 (会社更生・民事再生・会社整理) による債権切捨て、私的整理による債権放棄等
- オ 回収、返済等
- カ 債務者の業況改善等

【福岡銀行単体】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	△ 10
イ 直接償却	△ 51
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	△ 0
オ 回収・返済	△ 118
小計	△ 179
カ 業況改善	△ 128
合計	△ 307

【熊本ファミリー銀行単体】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	—
イ 直接償却	0
ウ 清算型処理	△ 2
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 14
小計	△ 16
カ 業況改善	△ 8
合計	△ 24

【親和銀行単体】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	△ 5
イ 直接償却	△ 6
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 27
小計	△ 38
カ 業況改善	△ 29
合計	△ 67

(2) 破綻懸念先以下の債権について

ア. 債権残高の増減

【3行単体合算】

	22年3月末 (A)	22年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生債権および危険債権	1,692	1,380	338	1,718

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 312	25

(注) 新規発生分は22年度中間期に初めて破綻懸念以下となった先

【福岡銀行単体】

	22年3月末 (A)	22年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生債権および危険債権	1,305	1,054	254	1,308

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 251	3

(注) 新規発生分は22年度中間期に初めて破綻懸念以下となった先

【熊本ファミリー銀行単体】

	22年3月末 (A)	22年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生債権および危険債権	127	105	50	155

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 22	28

(注) 新規発生分は22年度中間期に初めて破綻懸念以下となった先

【親和銀行単体】

	22年3月末 (A)	22年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生債権および危険債権	260	220	34	254

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 40	△ 5

(注) 新規発生分は22年度中間期に初めて破綻懸念以下となった先

イ. オフバランス化の内訳

【3行単体合算】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	△ 15
イ 直接償却	△ 57
ウ 清算型処理	△ 2
エ 再建型処理	△ 0
オ 回収・返済	△ 148
小計	△ 221
カ 業況改善	△ 91
合計	△ 312

- ア 債権売却 (再生ファンドへの売却・バルクセール等)
- イ 部分直接償却実施額
- ウ 清算型倒産手続 (破産・特別清算) による債権切捨て・債権償却
- エ 再建型倒産手続 (会社更生・民事再生・会社整理) による債権切捨て、私的整理による債権放棄等
- オ 回収、返済等
- カ 債務者の業況改善等

【福岡銀行単体】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	△ 10
イ 直接償却	△ 51
ウ 清算型処理	-
エ 再建型処理	△ 0
オ 回収・返済	△ 114
小計	△ 175
カ 業況改善	△ 76
合計	△ 251

【熊本ファミリー銀行単体】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	-
イ 直接償却	0
ウ 清算型処理	△ 2
エ 再建型処理	-
オ 回収・返済	△ 13
小計	△ 15
カ 業況改善	△ 7
合計	△ 22

【親和銀行単体】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	△ 5
イ 直接償却	△ 6
ウ 清算型処理	-
エ 再建型処理	-
オ 回収・返済	△ 21
小計	△ 32
カ 業況改善	△ 8
合計	△ 40

(3) 与信費用比率

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	22年度中間期	21年度中間期	21年度
信用コスト (A)	4,898	12,003	20,942
貸出金平残 (B)	8,254,707	8,215,635	8,228,727
与信費用比率 (A)/(B)	0.11%	0.29%	0.25%

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	21年度中間期	21年度
信用コスト (A)	4,159	10,029	20,613
貸出金平残 (B)	6,245,423	6,186,537	6,202,466
与信費用比率 (A)/(B)	0.13%	0.32%	0.33%

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	21年度中間期	21年度
信用コスト (A)	779	1,033	2,813
貸出金平残 (B)	839,908	846,047	846,086
与信費用比率 (A)/(B)	0.18%	0.24%	0.33%

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	22年度中間期	21年度中間期	21年度
信用コスト (A)	△ 41	941	△ 2,484
貸出金平残 (B)	1,169,375	1,183,050	1,180,175
与信費用比率 (A)/(B)	△ 0.00%	0.16%	△ 0.21%

9. ローン残高

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	22年9月末				22年3月末	21年9月末
	(年率:%)		22/3末比	21/9末比		
ローン残高	(3.5%)	2,224,536	34,667	75,614	2,189,869	2,148,922
住宅ローン残高	(4.4%)	2,071,621	40,219	87,257	2,031,402	1,984,364
消費者ローン残高	(△ 7.1%)	152,914	△ 5,553	△ 11,643	158,467	164,557

【参考】

(単位:百万円)

	(年率:%)	22年度上期	21/下比	21/上比	21年度下期	21年度上期
住宅ローン実行額	(△ 0.8%)	139,080	△ 6,010	△ 1,148	145,090	140,228

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末				22年3月末	21年9月末
	(年率:%)		22/3末比	21/9末比		
ローン残高	(3.4%)	1,669,736	24,201	54,380	1,645,535	1,615,356
住宅ローン残高	(4.0%)	1,558,457	26,134	60,271	1,532,323	1,498,186
消費者ローン残高	(△ 5.0%)	111,279	△ 1,932	△ 5,890	113,211	117,169

【参考】

(単位:百万円)

	(年率:%)	22年度上期	21/下比	21/上比	21年度下期	21年度上期
住宅ローン実行額	(0.6%)	101,461	△ 6,088	573	107,549	100,888

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末				22年3月末	21年9月末
	(年率:%)		22/3末比	21/9末比		
ローン残高	(3.8%)	258,428	4,279	9,541	254,149	248,887
住宅ローン残高	(5.1%)	243,927	5,389	11,849	238,538	232,078
消費者ローン残高	(△ 13.7%)	14,500	△ 1,110	△ 2,309	15,610	16,809

【参考】

(単位:百万円)

	(年率:%)	22年度上期	21/下比	21/上比	21年度下期	21年度上期
住宅ローン実行額	(10.3%)	18,623	413	1,741	18,210	16,882

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末				22年3月末	21年9月末
	(年率:%)		22/3末比	21/9末比		
ローン残高	(4.1%)	296,371	6,186	11,693	290,185	284,678
うち住宅ローン	(6.0%)	269,236	8,696	15,137	260,540	254,099
うち消費者ローン	(△ 11.3%)	27,134	△ 2,511	△ 3,445	29,645	30,579

【参考】

(単位:百万円)

	(年率:%)	22年度上期	21/下比	21/上比	21年度下期	21年度上期
住宅ローン実行額	(△ 15.4%)	18,996	△ 333	△ 3,462	19,329	22,458

10. 中小企業等貸出金残高・比率

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
	(年率:%)	22/3末比	21/9末比		
中小企業等貸出金残高	(△0.2%) 5,766,803	7,769	△10,474	5,759,034	5,777,277
中小企業等貸出金比率	- 68.17%	△2.55%	△2.05%	70.72%	70.22%

(注) 中小企業等貸出金残高は、特別国際金融取引勘定を除く。
以下、福岡銀行、熊本ファミリー銀行及び親和銀行においても同様であります。

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
	(年率:%)	22/3末比	21/9末比		
中小企業等貸出金残高	(0.9%) 4,223,843	22,468	38,254	4,201,375	4,185,589
中小企業等貸出金比率	- 65.64%	△3.11%	△1.89%	68.75%	67.53%

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
	(年率:%)	22/3末比	21/9末比		
中小企業等貸出金残高	(△1.2%) 743,379	△7,774	△8,891	751,153	752,270
中小企業等貸出金比率	- 87.38%	△1.02%	△1.02%	88.40%	88.40%

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
	(年率:%)	22/3末比	21/9末比		
中小企業等貸出金残高	(△4.7%) 799,581	△6,924	△39,837	806,505	839,418
中小企業等貸出金比率	- 68.12%	△0.12%	△3.12%	68.24%	71.24%